

有線ブロードバンドルーター BHR-4GRV2 **ブロードステーション設定ガイド**

buffalo.jp

35020484-01 2014-05

目次

<u>第1章 はじめに</u>	7
動作環境	7
設定画面の表示方法	8
<u>第2章 外出先からの接続設定</u>	9
本製品の設定(リモートアクセス設定)	9
外出先で使用する機器の設定をする	16
Windows 8.1/8をお使いの場合	16
Windows 7/Vistaをお使いの場合	
Windows XPをお使いの場合	22
Mac OSをお使いの場合	25
iPad/iPhone/iPod touchをお使いの場合	29
Android端末をお使いの場合	
自宅や会社の端末を外出先から遠隔操作できるように設	定する.33
Windows 8.1/8をお使いの場合	
Windows 7/Vistaをお使いの場合	
Windows XPをお使いの場合	
Mac OSをお使いの場合	
外出先から自宅や会社のネットワークに接続する	
Windows 8.1/8をお使いの場合	
Windows 7をお使いの場合	41
Windows Vistaをお使いの場合	42
Windows XPをお使いの場合	44
Mac OSをお使いの場合	45

iPad/iPhone/iPod touchをお使いの場合	47
Android端末をお使いの場合	48
外出先から自宅や会社の端末を遠隔操作する	50
Windows 8.1/8から遠隔操作する場合	50
Windows 7/Vista/XPから遠隔操作する場合	51
Mac OSから遠隔操作する場合	52
外出先から自宅や会社のファイルサーバーにアクセスする	53
Windowsの場合	53
Mac OSの場合	54
デバイスコントロール画面について	55
デバイスコントロール画面の表示方法	55
本製品のIPアドレスを確認する	56
本製品に接続しているNASなどの設定画面を表示する	57
本製品に接続している機器の電源を入れる	58

<u>第3章 拠点間接続の設定</u>	59
本社側の設定(PPTPサーバー設定)	59
支社側の設定(PPTPクライアント設定)	67
本社-支社間で通信をする	69
Windowsをお使いの場合	69
Mac OSをお使いの場合	70

第4章 本製品の設定画面	71
かんたん設定と詳細設定について	71
かんたん設定画面	72
トップ画面	72

拠点間接続(本社)/リモートアクセス
拠点間接続(支社)73
デバイスコントロール74
詳細設定画面
Internet75
PPPoE
DDNS
PPTPクライアント79
PPTPサーバー80
アドレス変換82
RIP82
LAN83
DHCPリース84
経路情報84
セキュリティー
ファイアウォール85
IPフィルター86
VPNパススルー86
ポート変換
DMZ88
UPnP
アプリケーション
スケジュール
管理91
システム設定91
ログ92
設定管理/再起動93
ファームウェア更新94 4

ステータス	
システム	
ログ	
通信パケット	
診断	

第5章 本製品の各種設定98
おまかせ節電機能を使って節電する98
ポートを開放する100
ネットワークゲームや各種サーバーを公開する場合など、あらかじめ利 用するポート番号が分かっている場合100 利用するポート番号が了明た場合
フレッツ回線向けの設定をする(PPPoEマルチセッション)…103
Bフレッツなどで固定IPサービスを利用する(IP Unnumbered) 106
本製品のファームウェアバージョンを確認する109
第6章 困ったときは110
インターネットにつながらない110

<u>第</u>	6章 困ったときは	<u>110</u>
	インターネットにつながらない	110
	前面のPOWER/DIAGランプが周期的に橙色に点滅している	111
	設定画面が表示できない	111
	外出先から接続できない/拠点間接続ができない	112
	設定を出荷時の状態に戻したい	112

<u> 第7章 付録</u>	
製品仕様	113
端子仕様	114
初期設定一覧	115
IPアドレスの固定方法	
Windows 8.1/8の場合	
Windows 7の場合	
Windows Vistaの場合	
Windows XPの場合	
Mac OSの場合	121
壁面への取り付けについて	122
版権・免責事項	124

第1章 はじめに

動作環境

本製品の動作環境は次の通りです。

対応機器・対応OS

<本製品との接続>

LAN端子を搭載したネットワーク機器(パソコン、NAS、テレビ、ゲーム機など)

<本製品の設定変更>

Internet Explorer 8.0以降を搭載したWindows 8.1*/8*/7*/Vista*/XPパソコン、 Safariを搭載したMac OS(10.5/10.6/10.7/10.8/10.9) ※ 64 ビットと32 ビットに対応しています。

設定画面の表示方法

本製品の設定は設定画面で行います。設定画面は、以下で表示できます。

- **1** Webブラウザーを起動します。
- **2** アドレス欄に本製品のLAN側のIPアドレス(出荷時設定では192.168.12.1)を入力します。

メモ: LAN側IPアドレスが分からない場合は、アドレス欄に「buffalo.setup」と入力してください。

3 ユーザー名欄に「admin」、パスワード欄に「password」を入力し、[ログイン]をクリックします。 (パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力します)

BUFFALO	
Broad Station BHR-4GRV2 Version X.XX	
ユーザー名 admin	
パスワード	•
ログイン	

4 本製品の設定画面が表示されます。

BUFFALO		4	()	Ŧ	G
	-周 -四-同 現点開接続 (支社)	◆ [■] + ◆ = テ/(イスコントロール 有後:1			
			Ç, Yanışde		l
Broad Station BHR-4GRV2 Vers	ion X.XX		Соруг	ight © 2013 B	uffalo Inc.

第2章 外出先からの接続設定

本章では、外出先から自宅や会社のネットワークにアクセスするための設定を説明します。

本製品の設定(リモートアクセス設定)

外出先からアクセスできるように、本製品を設定します。

以下の設定の前に、別紙の「設置・初期設定ガイド」を参照して、本製品の初期設定を行ってください。初期 設定完了後、インターネットに接続できることを確認したら、以下の設定を行ってください。

1 第1章の「設定画面の表示方法」を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「拠点間接続(本社)/リモートアクセス」をクリックします。

BUFFALO		ň		<u>(</u>)	Ŧ	G
● Off 拠点開接枝 (本社) /リ モートアクセス	同一 同-同 脱点關接続(交社)	☆ [●] ☆ ◆ ○ ◆ ○ <i>マ</i> デバイスコントロール 石紙: 1				
				Ç,	1	
			ļ	ļ		

3 「リモートアクセス」を選択して、 [次へ] をクリックします。

BUFFALD	ň		(j)	4	G
→ 拠点間接続(本社)/リモートアクセス					
設定する内容を選んでください。					
○ 拠点間接続(本社)					
 リモートアクセス 					
戻る					欠へ
					_
Broad Station BHR-4GRV2 Version XXX 	[次へ] な	モクリ	ック	しま	uffalo In す。
Broad Station BHR-4GRV2 Version X.XX 設定を変更する」を選択して、 BUFFALD	[次へ] な ^	€クリ ●	ック	しま	uffelo In す。 G
Broad Station BHR-4GRV2 Version X.XX 記定を変更する」を選択して、 BUFFFALD ● リモートアクセス> ダイナミックDNS設定	[次へ] オ 作	€クリ ●	copyris ツク ①	しまう	uffato Inv す。 G
 Broad Station BHR-4GRV2 Version X.XX 「設定を変更する」を選択して、 BUFFALO ● リモートアクセス> ダイナミックDNS設定が設定されていません。 ダイナミックDNS設定が設定されていません。 ダイナミックDNSサービスを使用すると、外出先から す。 	[次へ] な 作 ドメイン名で接	<u>そ</u> クリ ・ ・ ・ ・ ・	Copyrig ック ①	#* © 2014 B しまう き	uffeto In す。 C
BroadStation BHR-4GRV2 Version X.XX 「設定を変更する」を選択して、 BUFFALO ● リモートアクセス> ダイナミックDNS設定 ダイナミックDNS設定が設定されていません。 ダイナミックDNS設一ビスを使用すると、外出先から す。 WAN側IPアドレス: XXX.XXX.XXX	[次へ] れ 作	をクリ ・ ・ ・ ・ ・	Convis ック ①	#* © 2014 B しまう	uffeto Inv
BroadStation BHR-4GRV2 Version X.XX 「設定を変更する」を選択して、 BUFFALO ● リモートアクセス> ダイナミックDNS設定 ダイナミックDNS設定が設定されていません。 ダイナミックDNS設定が設定されていません。 ダイナミックDNSサービスを使用すると、外出先から す。 WAN側IPアドレス: XXX.XXX.XXX.XXX ● 跛症を変更する	[次へ] な 作	そクリ ●	Copyrig ック ①		uffato Inv す。 G
 BroadStation BHR-4GRV2 Version X.XX 「設定を変更する」を選択して、 BUFFALD ● リモートアクセス> ダイナミックDNS設定 ダイナミックDNS設定が設定されていません。 ダイナミックDNS設定が設定されていません。 ダイナミックDNS設定が設定されていません。 ジィナミックDNSサービスを使用すると、外出先からす。 ● 設定を変更する ● 設定を変更する ● 設定を変更しない 	[次へ] れ 作	そクリ ●	Copyrig ック ①	しま	uffeto In す。 G

Broad Station BHR-4GRV2 Version X.XX

4

メモ: ここではダイナミックDNSを使用する場合を例に説明します。固定IPアドレスを使用する場合など、 ダイナミックDNSの設定を行わない場合は、「設定を変更しない」を選択して、〔次へ〕をクリックし、手 順13へ進んでください。

Copyright © 2014 Buffalo Inc.

5 使用するダイナミックDNSサービスを選択します。

ここでは例として「バッファローダイナミックDNSサービスを使用する」を選択して、 [次へ] をクリックします。



メモ:「バッファロー以外のダイナミックDNSサービスを使用する」を選択した場合は、ユーザー名、パス ワード、ホスト名、IPアドレス更新周期などを別途設定し、手順13へ進んでください。

6 製造番号(製品本体のラベルに記載されている14桁の数字)を入力し、[登録・再設定]をクリックします。

BUFFALD Dynamic DNS Service



[ユーザーIDを忘れた場合はこちらから確認可能です] [よくある質問]

メモ: すでにバッファローダイナミックDNSサービスをご利用の場合は、ユーザーIDとパスワード、製造番

号を入力してください。

- 7 「個人・法人」、「住所」、「氏名・法人名」、「電話番号」、「パスワード」、「電子メール」の項目に各情報を入力し、「登録」をクリックします。
- 8 登録内容を確認して、 [登録] をクリックします。
- **9** [ダイナミックDNS利用登録開始]をクリックします。
- 10 規約文を確認し、同意できる場合は [同意して登録する] をクリックします。 メモ: 画面下部に表示されている「ユーザID」、「パスワード」は変更しないでください。
- **11** 希望するURLのサブドメイン名(半角英数字)を入力し、 [送信] をクリックします。

BUFFALD Dynamic DNS Service

URL設定

登録完了までの道のり: ●●●●● ○→△ ID:XXXXXXXXX ライゼンスコード:BUFXXXXXXXXXXXXXXXXXX 使用するURLを設定します。
希望するURLのサブドメイン名(半角英数字)を入力してください。
送信 川也小

12登録内容を確認し、 [ルータに登録]をクリックします。

BUFFALO Dynamic DNS Service

バッファロー・ダイナミックDNSご登録内容の確認

登録完了までの道のり: ●●●●●● ○△

バッファロー・ダイナミックDNSサービス利用登録が完了しました。 ご登録いただきましたサービスは、ご登録の翌月末まで無償にてご提供いたします。 その後も継続してご利用の場合は別途有償サービス利用のお申し込みをいただく必要があります。 有償サービスのお申し込み方法につぎましては、無償提供期間終了前にご登録のe-mailアドレス宛に電 子メールにてお知らせいたします。

ご登録内容を下記の通り受け付けました。

バスワ*ー*ド xxxxxxxxx

ステータス 無償

無償提供期限 XXXXX年XX月XX日

上記の内容を確認してください。 変更・訂正がある場合は、再度<u>ログイン</u>して訂正してください。

このデータをルータに登録します。

ルータに登録

13 「制限しない」を選択して、 [次へ] をクリックします。



メモ:

- ここでは例として、不特定の場所から本製品にアクセスする場合を想定し、「制限しない」を選択しています。
- 常に決まったIPアドレスから本製品にアクセスする場合は、「制限する」を選択して[次へ]をクリックします。
- 14 外出先から本製品にアクセスする際に使用する「設定用ホスト名」を入力し、 [次へ] をクリックします。

BUFFALO	ň		(j)	Ŧ	G
リモートアクセス> 設定用ホスト名の設定					
設定用ホスト名とは、外出先から本製品にアクセスする際 例えば、設定用ホスト名を「home.vpn」と設定すれば、 「http://home.vpn/hosts.html」というアドレスで、本 を表示できます。	に使用するア 外出先から 製品のデバイン	ドレスで スコントI	す。 ロール画	面	
設定用木スト名ixxxx					
BroadStation BHR-4GRV2 Version XJXX			Соруг	ight © 2014 B	uffalo Inc.

メモ:

- 設定用ホスト名とは、外出先から本製品にアクセスする際に使用するアドレスです。例えば、設定用ホスト名を「home.vpn」と設定すれば、外出先から「http://home.vpn/hosts.html」というアドレスで、本製品のデバイスコントロール画面を表示できます。
- すでにインターネット上に実在するアドレス(例:86886.jpなど)を設定用ホスト名に設定すると、外出 先から本製品にアクセスできないことがあります。
- ・ ここで設定用ホスト名を登録しない場合は、何も入力せずに [次へ] をクリックしてください。

15 外出先から本製品にアクセスする際に使用するユーザーIDとパスワードを入力して、 [追加] をクリックします。

BUFFALD		Ħ.	•	(i)	ц.	G∗
⊕ リモートアクセス> ユーサ	の登録					
接続を許可するユーザーを	登録してください。					
ユーザーID user1						
パスワード	●●●● i追カɑ					
接続を許可するユーザー一覧						
ユーザーID	割り当て方法/アドレス			操作		
戻る					۳	KA
Broad Station BHR-4GRV2 Version X.XX				Copyri	ght © 2014 Bu	ffalo Inc.

16手順15で設定したユーザーIDがリストに追加されていることを確認し、[次へ]をクリックします。

BUFFALD	ň	•	(i)	Ŧ	G
● リモートアクセス> ユーザーの登録					
接続を許可するユーザーを登録してください。					
ユーザーID					
パスワード					
接続を許可するユーザー一覧					
ユーザーID 割り当て方法/アドレス		操	乍		
user1 DHCPから自動取得		前目除			
戻6				ÿ	<i>دم</i>
Broad Station BHR-4GRV2 Version X.XX			Copyrig	ht © 2014 Bu	falo Inc.

メモ: ユーザーIDをさらに追加したい場合は、上記の画面でユーザーIDとパスワードを入力して、 [追加] をクリックします。

17 [完了] をクリックします。

BUFFAL	10			ň	۲	(i)	Ŧ	₽
דע 🌐	Eートアクセス							
形 う 話 封 封	9注が完了しました。 ダイナミックDNSサービス: 9定用ホスト名: 8読元のIPアドレス制限: 8読可能なユーザー数:	使用する ドメイン名 :xxxx xxxxxxxxxx 制限しない 1	ooox.bf1.org					
33	またを計可するユーザーー第 ユーザーID user1	: DHCPから自動取得	割り当て方法/ア	ドレス		—		
Broad Station	BHR-4GRV2 Version X.XX					Copyrig	ht © 2014 Bu	falo Inc.

18「拠点間接続(本社)/リモートアクセス」が「On」になったことを確認します。

BUFFALO		ń	(i)	4	G
	-四一 -四一 現点開接続 (支社)	◆ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	с, Унивозе		
Broad Station BHR-4GRV2 Vers	ion X.XX		Copyri	ght © 2014 Bu	uffalo Inc.

以上で本製品の設定は完了です。

外出先で使用する機器の設定をする

Windows 8.1/8をお使いの場合

- コントロールパネルを表示します。
 (画面左下を右クリックし、[コントロールパネル]を選択します)
- 2 [ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックします。



[新しい接続またはネットワークのセットアップ]をクリックします。

3



4 「職場に接続します」を選択して、 [次へ] をクリックします。



「インターネット接続(VPN)を使用します」をクリックします。

	×
どの方法で接続しますか?	
→ インターネット接続 (VPN) を使用します(<u>1</u>) インターネット経由で仮想プライベート ネットワーク (VPN) を使用して接続します。	
🧶 — 🎱 — 🦫	
→ 直接ダイヤルします(D) インターネットを経由しないで、電話番号で直接に接続します。	
i 🦣 i 🦫	
	キャンセル

6 ダイナミックDNSサービスで取得したURL(「本製品の設定(リモートアクセス設定)」の手順11で取得 したURL)と接続先の名前(任意の名称)を入力し、[作成]をクリックします。

€ 晶職場への接続	- • ×
接続に使用するインタ	ーネット アドレスを入力してください
このアドレスは、ネットワーク管理	星者より受け取ることができます。
インターネット アドレス(<u>I</u>):	XXX.XXX.XXX.XXX
接続先の名前(E):	VPN 接続
□ スマート カードを使用 ✓ 資格情報を記憶する ⑤ □ 他の人がこの接続を このオプションによって	iする(<u>ら)</u> (<u>B</u>) 使うことを許可する(<u>A)</u> 、このコンピューターにアクセスがあるすべての人がこの接続を使えるようになります。
	作成(<u>C</u>) キャンセル

メモ:バッファロー以外のダイナミックDNSサービスを利用している場合や固定IPアドレスをご利用の場合 は、「インターネットアドレス」欄にダイナミックDNSのホスト名やIPアドレスを入力してください。

以上で設定は完了です。

Windows 7/Vistaをお使いの場合

- 1 コントロールパネルを表示します。 ([スタート] – [コントロールパネル] をクリックします)
- 2 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。



3

4

[(新しい)接続またはネットワークのセットアップ]をクリックします。



「職場に接続します」を選択して、[次へ]をクリックします。

接続オプションを選択します	
インターネットに接続します ワイヤレス、ブロードバンドまたはダイヤルアップによる接続を設定します。	^
☆ 新しいネットワークのセットアップ ☆ 新しいルーターまたはアクセス ボイントを構成します。	в
磁場に接続します 磁場へのダイヤルアップまたは VPN 接続をセットアップします。	
ダイヤルアップ接続をセットアップします ダイヤルアップ接続を使用してインターネットに接続します。	-
次へ(N)	キャンセル

5 「インターネット接続(VPN)を使用します」をクリックします。

どの方法で接続しますか?
→ インターネット接続 (VPN) を使用します(I) インターネット経由で仮想プライベート ネットワーク (VPN) を使用して接続します。
🔍 — 🎱 — 🦫
● 直接ダイヤルします(⊇) インターネットを経由しないで、電話番号で直接に接続します。
🔍 — 🦫
<u>VPN 接続とは何ですか?</u>
キャンセル

6 ダイナミックDNSサービスで取得したURL(「本製品の設定(リモートアクセス設定)」の手順11で取得したURL)と接続先の名前(任意の名称)を入力し、「今は接続しない。自分が後で接続できるようにセットアップのみを行う」にチェックマークをつけて、「次へ」をクリックします。

🚱 🗽 職場への接続	
接続に使用するインターネット	アドレスを入力してください
このアドレスは、ネットワーク	管理者より受け取ることができます。
インターネット アドレス(<u>I</u>):	XXX.XXX.XXX.XXX
接続先の名前(E):	VPN 接続
□ スマート カードを使用	する(<u>S</u>)
🚱 🔄 他の人がこの接続を使き	うことを許可する(<u>A</u>)
このオプションによっ がこの接続を使えるよ	て、このコンピューターにアクセスがあるすべての人 うになります。
☑ 今は接続しない。自分が	が後で接続できるようにセットアップのみを行う(<u>D</u>)
	次へ(N) キャンセル

メモ: バッファロー以外のダイナミックDNSサービスを利用している場合や固定IPアドレスをご利用の場合は、「インターネットアドレス」欄にダイナミックDNSのホスト名やIPアドレスを入力してください。

7 「外出先から接続するための準備をする」の手順8で設定したユーザー名とパスワードを入力し、[作成] をクリックします。

● ■ 磁場への接続		
ユーザー名およびパスワードな	を入力してください	
ユーザー名(U):	user1	
パスワード(<u>P</u>):	•••••	
	『パスワードの文字を表示する(S)	
	このパスワードを記憶する(R)	
ドメイン (オプション)(<u>D</u>):		
	作成(<u>C</u>)	キャンセル

8 「接続の使用準備ができました」と表示されたら、 [閉じる] をクリックします。

以上で設定は完了です。

<u>Windows XPをお使いの場合</u>

- コントロールパネルを表示します。

 ([スタート] [コントロールパネル] をクリックします)
- 2 [ネットワークとインターネット接続]をクリックします。



3 [ネットワーク接続]をクリックします。



4 [新しい接続を作成する]をクリックします。



5 [次へ]をクリックします。



6 「職場のネットワークへ接続する」を選択して、 [次へ] をクリックします。



7 「仮想プライベートネットワーク接続」を選択して、 [次へ] をクリックします。



8 「会社名」に任意の名称を入力して、 [次へ] をクリックします。

新しい接続ウィザード	
接続名 職場への接続の名前を指定します。	S)
次のボックスにこの接続の名前を入力してください。 会社名(<u>A</u>)	
VPN接続	
たとえば、職場の名前や接続するサーバーの名前を入力できます。	
< 戻る(B) 次へ(N)> キャンセル

9 ダイナミックDNSサービスで取得したURL(「本製品の設定(リモートアクセス設定)」の手順11で取得したURL)を入力して、 [次へ] をクリックします。

新しい接続ウィザード
VPN サーバーの選択 VPN サーバーの名前またはアドレスを指定してください。
接続するコンピュータのホスト名またはインターネット プロトコル (IP) アドレスを入力してください。
ホスト名または IP アドレス (例: microsoft.com また(±15754.0.1)(<u>H</u>):
XXXXXXXXXXXXX
〈戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

メモ: バッファロー以外のダイナミックDNSサービスを利用している場合や固定IPアドレスをご利用の場合は、「ホスト名またはIPアドレス」欄にダイナミックDNSのホスト名やIPアドレスを入力してください。

10「新しい接続ウィザードの完了」と表示されたら、 [完了] をクリックします。

以上で設定は完了です。

<u>Mac OSをお使いの場合</u>

ここでは、OS X 10.9の場合を例に説明します。

 [アップルメニュー] - [システム環境設定] をクリックします。
 Finder ファイル 編集 表示

 G Mac について ソフトウェア・アップデート... App Store...
 システム環境設定... Dock 最近使った項目

 「ネットワーク」をクリックします。



「+」をクリックします。

ネット	フーク環境: 自動		\$
⊖ Wi-Fi 《 接続済み	💦 状況:	接続済み	Wi-Fi を切にする
● Ethernet 未接続	le la	Wi-Fi は BUFFALO-123456 192.168.11.2 が設定されて	i に接続していて、IP アドレ います。
● Bluetooth PAN 未接続	ネットワーク名:	BUFFALO-123456	4
		成別のネットワークに自動 ワークに接続できない接続できない る前に確認メッセージが表	穴に接続されます。原知のネッ よ 新しいネットワークに接続↑ ⊼されます。

 インターフェイスで「VPN」、VPNタイプで「PPTP」を選択、サービス名に任意の名称を入力して、[作 成]をクリックします。

インターフェイスを選択し、新しいサービスの名前を入力して ください。		
インターフェイス:	VPN	\$
VPN タイプ:	РРТР	\$
サービス名:	VPN (PPTP)	
	キャンセル	作成

5 サーバアドレスにダイナミックDNSサービスで取得したURL(「本製品の設定(リモートアクセス設定)」の手順11で取得したURL)を、アカウント名に本章の「本製品の設定(リモートアクセス設定)」の手順15~16で設定したユーザー名を入力し、「認証設定」をクリックします。

● ○ ■ ▶	表示	ネット	ワーク	Q
ネッ	トワーク環境	意: 自動		\$
 ● Wi-Fi 接続済み ● Ethernet 未接続 ● Bluetooth PAN 	 	状況:	構成されていません	
未接続 ● VPN (PPTP) 未接続		サーパアドレス: アカウント名: 暗号化:	xxxxxxx.bfl.org user1 自動(128ビットまた 認証設定 接続	・ こは 40 ビット) ÷
+ - * *		□×=ューパーに	VPN の状況を表示	詳細 ?
📔 変更できないよう	うにするにはけ	コギをクリックします。	アシスタント	元に戻す 適用

パスワードを選択し、本章の「本製品の設定(リモートアクセス設定)」の手順15~16で設定したパスワードを入力して、 [OK] をクリックします。

ユーザ認証:	1
● パスワード:	
ORSA SecurID	
○ 証明書	選択
Kerberos	
CryptoCard	

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	*957-9	L
ネットワーク現	境: 自動 🛟	
● Wi-Fi 授統済み ● Ethernet 未投続	状況: 構成されていません	
e Bluetooth PAN 👔	構成: デフォルト	;
⊖ VPN (PPTP) ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	サーバアドレス: xxxxxxx.bfl.org アカウント名: user1	
	暗号化: 自動 (128 ビットまたは 40) 認証設定 接続	<u> ビット)</u>
+ - & -	□ メニューバーに VPN の状況を表示	詳細

以上で設定は完了です。

<u>iPad/iPhone/iPod touchをお使いの場合</u>

ここでは、iOS 7.1を搭載したiPod touchの場合を例に説明します。

1 [設定] をタップします。



2 [一般] > [VPN] の順にタップします。

	一般	
パスコードロッ	ック オフ	>
機能制限	オフ	>
日付と時刻		>
キーボード		>
言語環境		
iTunes Wi-Fi同期		>
VPN	接続されていません	>

3

[VPN構成を追加…]をタップします。

く 一般	VPN
VPN	\bigcirc
構成を選択	
VPN構成を	追加 >

4 [PPTP] をタップし、説明、サーバ、アカウント、パスワードを設定して [保存] をタップします。

キャンセル	構成を追加	保存
L2TP	РРТР	IPSec
説明	Test	
サーバ	xxxxxxxx.bf	l.org
アカウント	xxxxxxx	
RSA Securll	D	\bigcirc
パスワード	•••••	
暗号化レベル	L	自動 >
すべての信号	号を送信	
プロキシ		
オフ	手動	自動

説明:

任意の説明を設定します。

サーバ:

ダイナミックDNSサービスで取得したURL(「本製品の設定(リモートアクセス設定)」の手順11で取得した URL)を設定します。

アカウント:

「本製品の設定(リモートアクセス設定)」の手順15~16で設定したユーザー名を設定します。

パスワード:

「本製品の設定(リモートアクセス設定)」の手順15~16で設定したパスワードを設定します。

以上で設定は完了です。

<u>Android端末をお使いの場合</u>

ここでは、Android 4を搭載した機器を例に説明します。

- 1 [設定]をタップします。
- 2 [その他の設定]をタップします。



3 [VPN] をタップします。



4 [VPNネットワークを追加]をタップします。

< 💿 vpn

VPNネットワークを追加

5 VPNネットワークの設定を入力して、 [保存] をタップします。

VPNネットワークを編集		
名前 VPN接続		
タイプ PPTP サーバーアドレス		
xxxxxxx.bf1.org		
」 拡張オプションを表示		
キャンセル 保存		

名前:

任意の名前を設定します。

タイプ: PPTPを選択します。

サーバーアドレス:

ダイナミックDNSサービスで取得したURL(「本製品の設定(リモートアクセス設定)」の手順11で取得した URL)を設定します。

PPP暗号化(MPPE): チェックマークをつけます。

拡張オプションを表示: チェックマークを外します。



6 手順5で設定した接続先が登録されたことを確認します。



自宅や会社の端末を外出先から遠隔操作できるように設定する

自宅や会社の端末を外出先から遠隔操作できるようにするには、端末側が同機能に対応している必要があります。ここでは例としてWindows 8.1/8/7/Vista/XP、OS X 10.9の場合の手順を説明しますが、OSのエディション (Pro、Home Premium、Ultimateなどの種別)の違いによっては、端末側が遠隔操作に対応していないため、 下記の通りに設定できない場合があります。あらかじめご了承ください。

Windows 8.1/8をお使いの場合

- コントロールパネルを表示します。
 (画面左下を右クリックし、[コントロールパネル]を選択します)
- 2 [システムとセキュリティ]をクリックします。



3 [システム] をクリックします。



4 [リモートの設定]をクリックします。



メモ:「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、 [はい] または [続行] をクリックします。

「このコンピューターへのリモート接続を許可する」を選択し、 [OK] をクリックします。



以上で設定は完了です。

<u>Windows 7/Vistaをお使いの場合</u>

- **1** [スタート] をクリックします。
- **2** 「コンピューター」を右クリックして、「プロパティ」を選択します。
- 3 [リモートの設定]をクリックします。



メモ:「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、 [はい] または [続行] をクリックします。

4 「リモートデスクトップを実行しているコンピューターからの接続を許可する」を選択し、 [OK] をクリックします。

システムのプロパティ エ
コンピューター名 ハードウェア 詳細設定 システムの保護 リモート
リモート アシスタンス
ℤ このコンピューターへのリモート アシスタンス接続を許可する(B)
リ <u>モートアシスタンスを有効にした場合の動作についての詳細</u> を表示します。
リモート デスクトップ
オプションをクリックし、必要がある場合は接続できるユーザーを指定してください。
○ このコンピューターへの接続を許可しない(D)
 リモートデスクトップを実行しているコンピューターからの接続を許可する(セキュリティのレベルは低くなります)(L)
ネットワークレベル認証でリモートデスクトップを実行しているコンピューターからのみ接続を許可する(セキュリティのレベルは高くなります)(N)
<u>オブションについての詳細を表示します。</u> ユーザーの選択(S)
OK キャンセル 適用(<u>A</u>)

以上で設定は完了です。
<u>Windows XPをお使いの場合</u>

- **1** [スタート] をクリックします。
- 2 「マイコンピュータ」を右クリックして、「プロパティ」を選択します。
- 3 [リモート] をクリックします。

システムのプロパティ	?
全般 コンピュータ名 ハードウェア 副	
	システム:
	Microsoft Windows XP

4 「このコンピュータにユーザーがリモートで接続することを許可する」にチェックマークを付けて、 [OK] をクリックします。



Mac OSをお使いの場合

ここでは、OS X 10.9の場合を例に説明します。

1 [アップルメニュー] – [システム環境設定] をクリックします。

	📋 F	inder	ファイル	編集	表示
1	この	Mac I⊂	ວນເ		
	リフ	トウェア Store	・アッファ	'-ト	
	Арр				
ł	Dock	アム境理	银疋		•
	무가도	- = - +-12	50		
	取刈	エノルタ	20		

2 「共有」をクリックします。



3 「画面共有」の「入」にチェックマークを付け、「アクセスを許可」を「すべてのユーザ」に設定して、 [コンピュータ設定]をクリックします。

00	共有
▲ ▶ すべてを表示	Q
コンピュー夕名: BUFFALO ローカルネ アクセスで)の MacBook ットワーク上のコンピュータから、次のアドレスでこのコンピュータに きまず:BUFFALO-no-MacBook.local 編集
入 サービス	● 画面共有:入
 DVD または CD 共有 プレンタ共有 ブリンタ共有 スキャナ共有 リモートログイン リモートログイン リモートアップルイベント メgrid 共有 インターネット共有 Bluetooth 共有 	はかのユーザは、vnc://192.168.11.2/ でこのコンピュータの画面にアクセスした り、Finder のサイドバーで"BUFFALO の MacBook"を検索したりできます。 コンピュータ設定 アクセスを許可: ● すべてのユーザ 次のユーザのみ : ま Administrators + -
変更できないようにするにはカ	ギをクリックします。

4 「ほかのユーザが画面操作の権限を要求することを許可」と「VNC使用者が画面を操作することを許可」 にチェックマークを付けて、パスワードを入力し、[OK]をクリックします。

☑ ほかのユーザが画面操作の権限を要求す	ることを許可	
✓ VNC 使用者が画面を操作することを許す	可 パスワード:	
	キャンセル	ОК

外出先から自宅や会社のネットワークに接続する

メモ:ここでの操作は外出先から行います。自宅(LAN内)からは接続できません。

Windows 8.1/8をお使いの場合

- コントロールパネルを表示します。
 (画面左下を右クリックし、[コントロールパネル]を選択します)
- 2 [ネットワークとインターネット] をクリックします。



3 「ネットワークに接続」をクリックします。



4 「外出先で使用する機器の設定をする」の手順6で作成した接続先をクリックし、 [接続] をクリックします。

7 0	
ネットワーク	
接続	
ネットワーク 2	接続済み『コ
VPN 接続	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~
	接続(C)

5 「本製品の設定(リモートアクセス設定)」の手順15~16で登録したユーザー名とパスワードを入力し、 [OK] をクリックします。

ネットワ-	ーク認証	
user1		
•••••		
ドメイン:		
۴メイン:		

以上で接続は完了です。

<u>Windows 7をお使いの場合</u>

- コントロールパネルを表示します。

 ([スタート] [コントロールパネル] をクリックします)
- 2 [ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックします。



3 [ネットワークに接続]をクリックします。



4 「外出先で使用する機器の設定をする」の手順6で作成した接続先をクリックし、 [接続] をクリックします。

現在の接続先: キットワーク インターネット アクセス	*3
ダイヤルアップと VPN	^
VPN 接続	₩ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
ネットワークと共有センターを	開く

5 「本製品の設定(リモートアクセス設定)」の手順15~16で登録したユーザー名とパスワードを入力し、 [接続]をクリックします。

🐓 VPN 接続 へ接線	Ę	×
ユーザー名(<u>U</u>):	user 1	
パスワード(<u>P</u>):	******	
ドメイン(M):		
 ○ 次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する(S): ○ このユーザーのみ(№) ③ このコンピューターを使うすべてのユーザー(<u>A</u>) 		
	キャンセル プロパティ(Q) ヘルプ(<u>H</u>)

以上で接続は完了です。

<u>Windows Vistaをお使いの場合</u>

- コントロールパネルを表示します。

 ([スタート] [コントロールパネル] をクリックします)
- 2 [ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックします。



3 [ネットワークに接続]をクリックします。



4 「外出先で使用する機器の設定をする」の手順6で作成した接続先をクリックし、 [接続] をクリックします。

● 愛 ネットワークに接続	
接続するネットワークを選択します	
表示 すべて 🗸	47
VPN 接続 VPN 接続	
La construction de la constructi	
<u>追加のネットワークを検出できない理由を診断します</u> <u>接続またはネットワークをセットアップします</u> ネットワークと共有センターを開きます	
接続(<u>O)</u>	キャンセル

5 「本製品の設定(リモートアクセス設定)」の手順15~16で登録したユーザー名とパスワードを入力し、 [接続]をクリックします。

VPN 接続 へ接続		×
ユーザー名(山):	user1	
パスワード(<u>P</u>):	******	
ドメイン(M):		
 □ 次のユーザーが を保存する(S): ○ このユーザー ⑦ このユンピュー 	接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワー のみ(N) ータを使うすべてのユーザー(<u>A</u>)	·ド
	<u>キャンセル ブロパティ(Q) ヘルブ(E</u>	D

以上で接続は完了です。

<u>Windows XPをお使いの場合</u>

- コントロールパネルを表示します。

 ([スタート] [コントロールパネル] をクリックします)
- 2 [ネットワークとインターネット接続]をクリックします。



3 [ネットワーク接続]をクリックします。



4 「外出先で使用する機器の設定をする」の手順8で作成した接続先をダブルクリックします。 仮想プライベート ネットワーク



5 「本製品の設定(リモートアクセス設定)」の手順15~16で登録したユーザー名とパスワードを入力し、 [接続]をクリックします。

VPN接続 へ接続	2
ユーザー名(山):	user1
パスワード(<u>P</u>):	******
□ 次のユーザーが を保存する(S): ◎ このユーザ・ ○ このユンピュ	接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワード -のみい) - 夕を使うすべてのユーザー(<u>A</u>)
	キャンセル プロパティ(の) ヘルプ(出)

以上で設定は完了です。

<u>Mac OSをお使いの場合</u>

ここでは、OS X 10.9の場合を例に説明します。

1 [アップルメニュー] – [システム環境設定] をクリックします。

🤅 Finder	ファイル	編集	表示
この Mac に	ついて	7 L	
App Store	· · <i>· › › › ›</i> ·	- P	
システム環境	竟設定		
Dock			►
最近使った項	頁目		►

2 「ネットワーク」をクリックします。



3 「外出先で使用する機器の設定をする」の手順4で作成した接続先を選択し、 [接続] をクリックします。

J J Ceath		~
ネットワー	ク環境: 自動 🛟	
e Wi-Fi 接統済み	状況: 未接続	
● Ethernet 未接続		
e Bluetooth PAN 👔 😵	構成: デフォルト	\$
VPN (PPTP)	サーバアドレス: xxxxxxxx.bf1.org	
	アカウント名: user1	
	暗号化: 自動(128 ピットまたは	40ビット) ‡
	認証設定 接続	
+ - & •	□ メニューパーに VPN の状況を表示	詳細
n		

以上で接続は完了です。

<u>iPad/iPhone/iPod touchをお使いの場合</u>

ここでは、iOS 7.1を搭載したiPod touchの場合を例に説明します。





2 [VPN] をONにします。



以上で接続は完了です。

<u>Android端末をお使いの場合</u>

ここでは、Android 4を搭載した機器を例に説明します。

- 1 [設定] をタップします。
- 2 [その他の設定]をタップします。



3 [VPN] をタップします。

く 🔯 無線とネットワーク
ネットワーク
機内モード
モバイルネットワーク
テザリング 端末のモバイルデータ接続をUSBまたは Wi-Fiテザリングで共有
VPN VPNの設定と管理

4 「外出先で使用する機器の設定をする」の手順5で設定した接続先をタップします。



5 ユーザー名とパスワードを入力して [接続] をタップします。

VPN接続に接続			
ユーザー名			
user1 パスワード			
▶ アカワント情報を保存			
キャンセル 接続			

ユーザー名:

「本製品の設定(リモートアクセス設定)」の手順15~16で設定したユーザー名を設定します。

パスワード:

「本製品の設定(リモートアクセス設定)」の手順15~16で設定したパスワードを設定します。

アカウント情報を保存: チェックマークを付けます。

以上で接続は完了です。

外出先から自宅や会社の端末を遠隔操作する

メモ:ここでは例として、Windows同士、またはMac同士を遠隔操作する方法を説明します。

Windows 8.1/8から遠隔操作する場合

メモ:

- 以下の手順は、Windows 8用「リモートデスクトップ接続(Terminal Server クライアント)」を適用した場合の例です。
- (2) 以下の場合は、遠隔操作できないことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・ Windowsのエディションの違いにより、端末が遠隔操作に対応していない場合。
- ・ Windowsログイン時のパスワードが設定されていない場合。
- セキュリティソフトなどがインストールされており、ファイアウォール機能が有効になっている場合など。
- 1 「外出先から自宅や会社のネットワークに接続する」の手順で、外出先から自宅や会社のネットワークに 接続します。
- 2 リモートデスクトップ接続を表示します。 (「スタート」画面でキーボードの[Ctrl]キーと[Tab]キーを押して、[リモートデスクトップ接続] を選択します)
- **3** 操作したい端末のIPアドレスを入力して、 [接続] をクリックします。

5	リモート デスクトッフ	/接続 <mark>- □ ×</mark>
	ート デスクトップ 続	
⊐ンピューター(<u>C</u>):	XXX.XXX.XXX.XXX	~
ユーザー名: 指 接続時には資格情報	定されていません 報を要求されます。	
★プションの表	示(<u>O)</u>	接続(N) ヘルプ(日)

4 操作したい端末に登録されているユーザー名、パスワードを入力して、 [OK] をクリックします。接続が 完了すると、接続先端末の画面が表示されます。

<u>Windows 7/Vista/XPから遠隔操作する場合</u>

メモ:

- (1) 以下の手順は、Windows 7/Vista/XP用「リモートデスクトップ接続(Terminal Server クライアント)」を適用した場合の例です。
- (2) 以下の場合は、遠隔操作できないことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・ Windowsのエディションの違いにより、端末が遠隔操作に対応していない場合。
- ・ Windowsログイン時のパスワードが設定されていない場合。
- セキュリティソフトなどがインストールされており、ファイアウォール機能が有効になっている場合など。
- 1 「外出先から自宅や会社のネットワークに接続する」の手順で、外出先から自宅や会社のネットワークに 接続します。
- 2 [スタート] [(すべての)プログラム] [アクセサリ] [リモートデスクトップ接続]をクリックします。
- **3** 操作したい端末のIPアドレスを入力して、 [接続] をクリックします。

も リモート デスクトップ機 リモート デン 接続	_徳 スクトップ		- • -
コンピューター(C): XXXXXXX ユーザー名: 指定されていま 接続時には資格情報を要求され	೦೦XXXX ಆಗ್ಗೆ ೩ಕ್ಕೆ	•	
 オプション(①) 			ヘルプ(日)

4 操作したい端末に登録されているユーザー名、パスワードを入力して、 [OK] をクリックします。接続が 完了すると、接続先端末の画面が表示されます。

<u>Mac OSから遠隔操作する場合</u>

ここでは、OS X 10.9の場合を例に説明します。

1 [移動] – [サーバへ接続] をクリックします。

表示	移動 ウインドウ ヘル	プ
_	戻る	¥[
	進む	¥]
	内包しているフォルダ	# †
	📕 マイファイル	ΰ₩F
	🖹 書類	企業O
	🌆 デスクトップ	企業D
	😲 ダウンロード	ΥжL
	合 ホーム	<mark>ፚ</mark> #H
	💻 コンピュータ	<mark></mark> ĉ₩C
	🞡 AirDrop	企業R
	🛞 ネットワーク	企業K
	À アプリケーション	企業A
	🖹 ユーティリティ	企業U
	最近使ったフォルダ	►
	フォルダへ移動	企業G
	サーバへ接続	ЖK

2 サーバアドレス欄に「vnc://遠隔操作対象のMacのIPアドレス/」を入力し、 [接続] をクリックします。

$\Theta \circ \circ$	サーバへ接続		
サーバアドレス:			
vnc://xxx.xxx.xxx.xxx/			+ 07
よく使うサーパ:			
? 削除		プラウズ	接続

3 「登録ユーザとして」を選択し、遠隔操作対象のMacに設定されているユーザー名とパスワードを入力して、[接続]をクリックします。

"XXXXXXXXXXXXXX"の画面を共有するための名前と パスワードを入力してください。 接続: ○ アクセス権を要求
名前: XXXXXXXX
パスワード:
🗌 このバスワードをキーチェーンに保存
キャンセル 接続

以上で設定は完了です。

外出先から自宅や会社のファイルサーバーにアクセスする

<u>Windowsの場合</u>

- **1** 「外出先から自宅や会社のネットワークに接続する」の手順で、外出先から自宅や会社のネットワークに 接続します。
- ファイル名を指定して実行」を表示します。
 Windows 8.1/8の場合は、画面左下端を右クリックして、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
 Windows 7/Vistaの場合は、[スタート] [すべてのプログラム] [アクセサリ] [ファイル名を指定して実行]を選択します。
 Windows XPの場合は、 [スタート] [ファイル名を指定して実行]を選択します。
- **3** 名前欄に「¥¥(ファイルサーバーのIPアドレス)」(例:¥¥192.168.12.200など)の形式で入力して、 [OK] をクリックします。

🦅 ファイル	ル名を指定して実行	×
	実行するプログラム名、または開くフォルダーやドキョ ント名、インターネット リソース名を入力してください	,) .
名前(<u>O</u>):	¥¥192.168.12.200	•
	OK キャンセル 参照(<u>B</u>)	

メモ: ユーザー名とパスワードの入力欄が表示されたら、ファイルサーバーに登録されているユーザー名と パスワードを入力してください。

4 ファイルサーバーの共有フォルダーが表示されます。

<u>Mac OSの場合</u>

ここでは、OS X 10.9の場合を例に説明します。

- **1** 「外出先から自宅や会社のネットワークに接続する」の手順で、外出先から自宅や会社のネットワークに 接続します。
- **2** Mac OSのメニューバーより、 [移動] [サーバへ接続] を選択します。
- **3** サーバアドレス欄に「smb://(ファイルサーバーのIPアドレス)」(例: smb://192.168.12.200など)の 形式で入力して、 [接続] をクリックします。

00	サーバへ接続	
サーバアドレス:		
smb://192.168.12.200/	+ 6	•
よく使うサーパ:		
? 削除	ブラウズ 接続	

メモ: ユーザー名とパスワードの入力欄が表示されたら、ファイルサーバーに登録されているユーザー名と パスワードを入力してください。

4 ファイルサーバーの共有フォルダーが表示されます。

デバイスコントロール画面について

デバイスコントロール画面を使用すると、本製品に接続している機器の電源をOnにしたり、IPアドレスを確認 したりすることができます。

<u>デバイスコントロール画面の表示方法</u>

1 第1章の「設定画面の表示方法」を参照して、本製品の設定画面を表示します。 メモ:設定用ホスト名を設定している場合は、設定用ホスト名を使ってデバイスコントロール画面を表示 することもできます。例えば、設定用ホスト名が「home.vpn」の場合は、ブラウザーのアドレス欄に 「http://home.vpn/hosts.html」と入力すると、デバイスコントロール画面を表示できます。

2 「デバイスコントロール」をクリックします。

BUFFALO		Ħ	(i)	Ŧ	G
	同 円-同 発点期接続(支社)	↓ ■ ↓ ◆ ■ ↓ デバイスコントロール 和産:1			
			Ç, Ymlige		l
Broad Station BHR-4GRV2 Vers	ion X.XX		Copyr	ight © 2013 B	uffalo Inc.

3 デバイスコントロール画面が表示されます。

アバイスコントロール
IP ● ② ● ^{1/9-7} × F
IST 192.166.12.5 Peiktop
192.166.12.5 Peiktop
192.166.12.6 ● 192.166.12.6 ● 192.166.12.3

以上で完了です。

Broad Station BHR-4GRV2 Version X.XX

ight @ 2014 Buffalo I

本製品のIPアドレスを確認する

1 デバイスコントロール画面を表示します。

- **3** 本製品に接続している機器と、そのIPアドレスが表示されます。

デバイスコントロール

IP	インターネット XXX.XXX.XXX.XXX	BHR-4GRV2 192.168.12.1	
Note 192.168.12.5	Desktop 192.168.12.4	LS410DX 192.168.12.6	LS-XH15TL 192.168.12.3
			戻る
Broad Station BHR-4GRV2 Version X.XX			Copyright () 2014 Buffalo Inc.

メモ:各機器をクリックすると、デバイス名称やアイコンを変更する画面が表示されます。

*** デバイスコントロール	
デバイス設定	IPアドレス 192 168 12 5
	192.100.12.5
Note	MACアドレス
	XX:XX:XX:XX:XX:XX
	デバイス検出
	□ この編末は未検出でも表示する
Broad Station BHR-4GRV2 Version XXX	展る 認定 Copyright @ 2014 Buffalo Inc.

本製品に接続しているNASなどの設定画面を表示する

1 デバイスコントロール画面を表示します。



- 2 リアタブをクリックします。
- 3 各機器をクリックすると、その機器の設定画面が表示されます。

IP 🍈	Ø	()	BHR-4GRV2	
Note		Desktop	L5410DX 192.168.12.6	LS-XH15TL 192.168.12.3

メモ:

- 当社製LinkStationやTeraStationが接続されている場合は、アイコンをクリックすることでLinkStation/ TeraStationの設定画面を表示することができます。
- ・ 設定画面を表示できない機器のアイコンは、グレー表示となります。

<u>本製品に接続している機器の電源を入れる</u>

1 デバイスコントロール画面を表示します。



- **2** タブをクリックします。
- **3** 各機器をクリックすると、その機器に対して、Wake on LANパケットが送信されます。

IP 🌐 🙍	()	BHR-4GRV2	
Note XX:XX:XX:XX:XX:XX	Desktop xx:xx:xx:xx:xx:xx	L5410DX XX:XX:XX:XX:XX:XX	LS-XH15TL XX:XX:XX:XX:XX:XX

メモ:

- Wake on LAN機能に対応した機器が本製品に接続されている場合は、電源をONにすることができます。
- お使いの機器がWake on LAN機能に対応していても、機器側の設定でWake on LAN機能が無効になっている場合は、電源をONにすることはできません。

第3章 拠点間接続の設定

本章では、本社-支社間などの各拠点のネットワーク同士を接続するための設定を説明します。

本社側の設定(PPTPサーバー設定)

拠点間接続ができるように、本社側(PPTPサーバー側)の設定します。 以下の設定の前に、別紙の「設置・初期設定ガイド」を参照して、本製品の初期設定を行ってください。初期 設定完了後、インターネットに接続できることを確認したら、以下の設定を行ってください。

1 第1章の「設定画面の表示方法」を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「拠点間接続(本社)/リモートアクセス」をクリックします。

BUFFALO		ň	(j)	Ŧ	G
	同一 同-同 脱点關接続(交社)	◆ [●] ◆ ◆ ● ◆ ● ◆ = ◆ デバイスコントロール 和線: 1			
			Ç., Y M LEZE	1	

3 「拠点間接続(本社)」を選択して、[次へ]をクリックします。

BUFFALO	ń		(j)	.₩	G
💮 拠点間接続(本社)/リモートアクセス					
設定する内容を選んでください。					
 拠点間接続(本社) 					
〇 リモートアクセス					
灰る				8	
Broad Station BHR-4GRV2 Version X.XX			Copyri	ght © 2014 Bu	ffalo Inc.
「設定を変更する」を選択して、 <i>BUFFALD</i>	[次へ] を ^	クリ	ック	しまう	₽ ₽
● 拠点間接続(本社)>ダイナミックDNS設定					
ダイナミックDNS設定が設定されていません。 ダイナミックDNSサービスを使用すると、外出先から す。	ドメイン名で接線	できるよ	うになり	ŧ	
WAN側IPアドレス: XXX.XXX.XXX.XXX					
 設定を変更する 					
○ 設定を変更しない					
反る				8	5

4

メモ:ここではダイナミックDNSを使用する場合を例に説明します。固定IPアドレスを使用する場合など、 ダイナミックDNSの設定を行わない場合は、「設定を変更しない」を選択して、〔次へ〕をクリックし、手 順13へ進んでください。

5 使用するダイナミックDNSサービスを選択します。

ここでは例として「バッファローダイナミックDNSサービスを使用する」を選択して、 [次へ] をクリックします。



メモ:「バッファロー以外のダイナミックDNSサービスを使用する」を選択した場合は、ユーザー名。パス ワード、ホスト名、IPアドレス更新周期などを別途設定し、手順13へ進んでください。

6 製造番号(製品本体のラベルに記載されている14桁の数字)を入力し、 [登録・再設定] をクリックします。

BUFFALD Dynamic DNS Service

ダイナミックDNS利用 登録受付

登録完了までの道のり: ○→→→→→→△
バッファロー・ダイナミックDNSサービスをご利用いただくには、まずはじめに対象製品のユー ザー登録を行っていただく必要があります。 以下のフォームに必要事項を入力して『登録・再設定』ボタンをクリックするとユーザー登録に 進み、ユーザー登録後ダイナミックDNS利用登録に移ります。
*すでにユーザー登録をされている場合 ユーザーID、バスワードまたは電話番号および14桁の製造番号を入力してください。 バスワード登録をされている場合はバスワードを、バスワード登録がお済でない場合は電話 番号を入力して『登録・再設定』ボタンをクリックしてください。 ※バスワードはこの登録受付からユーザー登録を行うと設定されます。
*ユーザー登録がお済みでない場合 ユーザーID、バスワード、電話番号とも空欄のまま、14桁の製造番号のみを入力し『登録・再 設定』ボタンをクリックしてくたさい。
ユーザーID バスワード 電話番号 14桁の製造番号(必須)
入力いたたいた個人情報は、お客様の事前の同意なく第三者への開示を行いません。 また、弊社製品情報(新製品情報、所有製品の機能向上情報等)の提供、製品・サービス向上の為のア ンケートのお願い以外には使用いたしませんのでご安心ください。
登録・再設定 リセット

メモ: すでにバッファローダイナミックDNSサービスをご利用の場合は、ユーザーIDとパスワード、製造番

号を入力してください。

- 7 「個人・法人」、「住所」、「氏名・法人名」、「電話番号」、「パスワード」、「電子メール」の項目に各情報を入力し、「登録」をクリックします。
- 8 登録内容を確認して、 [登録] をクリックします。
- **9** [ダイナミックDNS利用登録開始]をクリックします。
- 10 規約文を確認し、同意できる場合は [同意して登録する] をクリックします。 メモ: 画面下部に表示されている「ユーザID」、「パスワード」は変更しないでください。
- **11** 希望するURLのサブドメイン名(半角英数字)を入力し、 [送信] をクリックします。

BUFFALD Dynamic DNS Service

URL設定

登録完了までの道のり: ●●●●● ○→△ ID:XXXXXXXXX ライゼンスコード:BUFXXXXXXXXXXXXXXXXX 使用するURLを設定します。
希望するURLのサブドメイン名(半角英数字)を入力してください。
.bf <u>₁,</u> jp
送信 川也小

12登録内容を確認し、 [ルータに登録]をクリックします。

BUFFALO Dynamic DNS Service

バッファロー・ダイナミックDNSご登録内容の確認

登録完了までの道のり: ●●●●●● ○△

バッファロー・ダイナミックDNSサービス利用登録が完了しました。 ご登録いただきましたサービスは、ご登録の翌月末まで無償にてご提供いたします。 その後も継続してご利用の場合は別途有償サービス利用のお申し込みをいただく必要があります。 有償サービスのお申し込み方法につぎましては、無償提供期間終了前にご登録のe-mailアドレス宛に電 子メールにてお知らせいたします。

ご登録内容を下記の通り受け付けました。

バスワ*ー*ド xxxxxxxxx

ステータス 無償

無償提供期限 XXXXX年XX月XX日

上記の内容を確認してください。 変更・訂正がある場合は、再度<u>ログイン</u>して訂正してください。

このデータをルータに登録します。

ルータに登録

13 「制限しない」を選択して、 [次へ] をクリックします。



メモ:

- ここでは例として、不特定の場所から本製品にアクセスする場合を想定し、「制限しない」を選択しています。
- 常に決まったIPアドレスから本製品にアクセスする場合は、「制限する」を選択して[次へ]をクリックします。
- 14 外出先から本製品にアクセスする際に使用する「設定用ホスト名」を入力し、 [次へ] をクリックします。

BUFFALD	ň		(i)	4	G
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・					
設定用ホスト名とは、外出先から本製品にアクセスする際に 例えば、設定用ホスト名を「home.vpn」と設定すれば、外 「http://home.vpn/hosts.html」というアドレスで、本製 を表示できます。	こ使用するア 出先から 品のデバイン	ドレスで スコントI	す。 コール画	面	
設定用ホスト名 xxxxx]. xxxxx].					
Rる BroadStation BHR-4GRV2 Version XXX			Copyri	ght © 2014 Be	KA Iffalo Inc.

メモ:

- ・ 設定用ホスト名とは、本製品にアクセスする際に使用するアドレスです。例えば、設定用ホスト名を 「home.vpn」と設定すれば、「http://home.vpn/hosts.html」というアドレスで、本製品のデバイスコントロール画面を表示できます。
- すでにインターネット上に実在するアドレス(例:86886.jpなど)を設定用ホスト名に設定すると、本製品にアクセスできないことがあります。
- ここで設定用ホスト名を登録しない場合は、何も入力せずに [次へ] をクリックしてください。

15 支社側(PPTPクライアント側)から本製品にアクセスする際に使用するユーザーIDとパスワード、支社の ローカルネットワークアドレスを入力して、[追加]をクリックします。

BUFFALO	ri -	•	(j)	Ŧ	G
→ 拠点間接続(本社)> 支社の登録					
支社(接続を許可する外出先)を登録してください。					
支社のユーザーID branch1 (最)	(16文字)				
接続パスワード ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●	(16文字)				
支社のLAN例ネットワーク 192.168.21.0 255.2 またード	5.255.0 ∨ 道加				
×11 [−] [−] [−] [−] 支社のユーザーID 支社のLA	N側ネットワーク	ы	H/F		
					_
戻る				~次~	
Broad Station BHR-4GRV2 Version X.XX			Copyright @	0 2014 Buffalo	Inc.

16手順15で設定したユーザーIDがリストに追加されていることを確認し、[次へ]をクリックします。

BUFFALO	Ħ		(i)	4	G
→ 拠点間接続(本社)> 支社の登録					
支社(接続を許可する外出先)を登録してください。					
支社のLAN劇ネットワーク 支社一覧	1997年1997年1997年1997年1997年1997年1997年1997				
支社のユーザーID 支社のLAN側ネット	フーク	H	H/F		
branch1 192.168.21.0/24		副助		次へ	
Broad Station BHR-4GRV2 Version X.XX			Copyright	© 2014 Buffalo	Inc.

メモ: 拠点をさらに追加したい場合は、上記の画面でユーザーIDとパスワード、支社のローカルネットワークアドレスを入力して、[追加]をクリックします。

17 [完了] をクリックします。

BUFFAL	0		ň.		(i)	Ŧ	G
💮 拠点	[間接続(本社)						
IS	定が完了しました。						
5	イナミックDNSサービス: 使	用する ドメイン名: xxxxxxx.bf1.org					
5	定用ホスト名: xxxxxx.xxxxxx						
13	統元のIPアドレス制限: 制限(しない					
B	総統可能なユーザー数:1						
Ż	社一覧						
	支社のユーザーID	支社のLAN側ネットワーク		操作			
	branch1	192.168.21.0/24	支社用	協定ファイル			
						完	7
Broad Station	BHR-4GRV2 Version X.XX				Copyrigh	rt © 2014 Buff	alo Inc.

18 「拠点間接続(本社)/リモートアクセス」が「On」になったことを確認し、もう一度「拠点間接続(本社)/リモートアクセス」をクリックします。

BUFFALO		ň	(j)	Ŧ	G
	-用 -用 脱点關接続 (支社)	◆ ■ ◆ ◆ ■ ◆ デバイスコントロール 和後: 1	Ċ _{\$} ₀ ¥₩ISDE		
Broad Station BHR-4GRV2 Vers	sion X.XX		Copyrig	ght © 2014 Bu	uffalo Inc.

19「拠点間接続(本社)」を選択して、 [次へ] をクリックします。

BUFFALO	ň	(j)	Ŧ	G⇒
・ 拠点間接続(本社)/リモートアクセス				
設定する内容を選んでください。				
 拠点間接続(本社) 				
・ リモートアクセス				
灰る			8	K ^
Broad Station BHR-4GRV2 Version X.XX		Copyri	ght © 2014 Bu	ffalo Inc.

20 [支社用設定ファイル]をクリックして、設定ファイルを保存します。

BUFFALD		Ħ		(j)	Ŧ	
● 拠点間接続(本社)						K
設定が完了しました。						
ダイナミックDNSサービス:	使用する ドメイン名: xxxxxxxx.bf1.org					
設定用ホスト名: xxxxxx.xxxxx	x					
接続元のIPアドレス制限:制	限しない					
接続可能なユーザー数:1						
支社一覧						
支社のユーザーID	支社のLAN側ネットワーク		操作			
branch1	192.168.21.0/24	支社月	目設定ファイル			
			戻る		安定をやり	直す

21 をクリックして、ホーム画面に戻ります。

22 手順20で保存した設定ファイルを、電子メールなどで支社へ送付します。

以上で本社側(PPTPサーバー側)の設定は完了です。

支社側の設定(PPTPクライアント設定)

支社側は「本社側の設定(PPTPサーバー設定)」の手順20で作成された設定ファイルを使って、設定を行います。

以下の設定の前に、別紙の「設置・初期設定ガイド」を参照して、本製品の初期設定を行ってください。初期 設定完了後、インターネットに接続できることを確認したら、以下の設定を行ってください。

- 1 第1章の「設定画面の表示方法」を参照して、本製品の設定画面を表示します。
- 2 「拠点間接続(支社)」をクリックします。

BUFFALO		ń	(i)	Ŧ	G
	-問 同-同 拠点期接続(交社)	e ■ + ● = ● = デバイスコントロール 有能: 1			
			Ç_o Theore		l
Broad Station BHR-4GRV2 Vers	ion X.XX		Соруг	ight © 2013 B	uffalo Inc.

3 「設定ファイルを読み込む」を選択して [参照] をクリックし、設定ファイルを読み込んで、 [次へ] を クリックします。

BUFFALD		Ħ.	•	(j)	Ŧ	G
• 四 拠点間接続(支社) • 四 -四						
設定方法を遅んでください。						
◎ 設定ファイルを読み込む						
C:\Users\Desktop\branch1.txt	参照					
○手動で設定する						
戻る					×.	^
Broad Station BHR-4GRV2 Version X.XX				Copyrigh	¢ © 2014 Buff	alo Inc.

4 設定内容を確認して、 [次へ] をクリックします。

BUFFALO			•	()	Ŧ	G
•¶ - 拠点間接続(支社)						
以下の内容で設定します。						
接続する本社アドレス	xxxxxxxbflorg	LAN側IPアドレス	192.168.21.1			
本社内ネットワーク	192.168.12.0		255.255.255.0	~		
	255.255.255.0 V	DHCPサーバー機能	✔ 使用する			
接続に使用するユーザーID	branch1	DHCPサーバー割り当て範囲	192.168.21.2			
接続に使用するパスワード	1000000000		から			
本社とのRIP送受信	☑ 使用する		64 台			
本社をデフォルトルートにする	5 🗌 使用する					
戻る					*	3
adStation out 40000 Version	1.02			Copyri	obr @ 2014 But	Falo Inc

5 「拠点間接続(支社)」が「On」になったことを確認します。

BUFFALO		ň	()	Ŧ	G
	同一 同一 拠点開接続(支社)	◆ ⁸ ★ ◆ 8 = ◆ デバイスコントロール 有後: i			
			Ç,, X hi l îze		l
BroadStation BHR-4GRV2 Vers	ion X.XX		Соругі	ight © 2014 B	uffalo Inc.

6 本製品に接続している機器を再起動するなどして、IPアドレスを再取得します。

本社-支社間で通信をする

ここまでの設定が完了したら、本社-支社間の通信を開始します。 最初に支社側(PPTPクライアント側)から通信を始めて、本社側(PPTPサーバー側)のネットワークに接続で きるか確認をします。

<u>Windowsをお使いの場合</u>

 「ファイル名を指定して実行」を表示します。
 (Windows 8.1/8の場合は、「スタート」画面でキーボードの[Ctrl] キーと[Tab] キーを押して、[フ アイル名を指定して実行]を選択します
 Windows 7/Vistaの場合は、[スタート] – [すべてのプログラム] – [アクセサリ] – [ファイル名を指 定して実行] をクリックします
 Windows XPの場合は、 [スタート] – [ファイル名を指定して実行] をクリックします)

2 名前欄に本社側のファイルサーバーのIPアドレスなどを入力して、 [OK] をクリックします。

🦅 ファイル	ル名を指定して実行
	実行するプログラム名、または開くフォルダーやドキュメ ント名、インターネット リソース名を入力してください。
名前(<u>O</u>):	¥¥192.168.12.200 👻
	OK キャンセル 参照(<u>B</u>)

メモ: 例えば、本社側のファイルサーバーのIPアドレスが192.168.12.200の場合、「¥¥192.168.12.200」と入力して [OK] をクリックしてください。

3 ファイルサーバー内のフォルダーが表示され、アクセスできるようになります。

<u>Mac OSをお使いの場合</u>

ここでは、Mac OS 10.9を例に説明します。

- 1 [移動] [サーバへ接続]を選択します。
- **2** Mac OSのメニューバーより、 [移動] [サーバへ接続] を選択します。
- **3** サーバアドレス欄に「smb://(本社側のファイルサーバーのIPアドレスなど)」の形式で入力して、[接続]をクリックします。

0 0	サーバへ接続	
サーバアドレス:		
smb://192.168.12.200/		+ 07
よく使うサーパ:		
? 削除	ブラウズ	接続

メモ:

- 例えば、本社側のファイルサーバーのIPアドレスが192.168.12.200の場合、「smb://192.168.12.200/」と 入力して[接続]をクリックしてください。
- ユーザー名とパスワードの入力欄が表示されたら、ファイルサーバーに登録されているユーザー名とパス ワードを入力してください。
- 4 ファイルサーバーの共有フォルダーが表示されます。

第4章 本製品の設定画面

本章では、本製品の設定画面について説明します。

設定画面の表示方法は、第1章の「設定画面の表示方法」を参照してください。

かんたん設定と詳細設定について

本製品の設定画面は、各種設定や機器診断を行う画面です。本製品の設定を変更するときや状態を確認したいときに使用します。

設定画面は「かんたん設定」と「詳細設定」に分かれており、用途によって使い分けることができます。少ない操作で設定を済ませたい場合は「かんたん設定」を、より高度な設定を行いたい場合は「詳細設定」をご利用ください。

BUFFALO A 🕕 🛈 🛃 G→ ::: Off Off 拠点間接続(本社)/リ 拠点間接続(支社) デバイスコントロール モートアクセス 有禄:1 **Ç**., 洋細設定 Broad Station BHR-4GRV2 Version X.XX Copyright © 2013 Buffalo Ir

かんたん設定の画面(一例)

詳細設定画面(一例)

BUFFALD		ň	۲	(i)	4	G
						∢∢ Help
Internet						
LAN	LAN則IPアドレス Pアドレス 192.168.12.1 サブネットマスク 255.255.255.0 V					
DHCDI I - 7	DHCPサーバー機能 🕑 使用する					
経路情報	割り当てIPアドレス 192168.12.2 から 64 除外アアドレス:	6				
セキュリティー アプリケーション	LAN側IPアドレス (IP Unnumbered用) サブネットマスク 235.255.2550 V					
管理	DHCPサーバー設定[拡張設定]					
ステータス	拡張設定 🗆 表示する					

かんたん設定画面

<u>トップ画面</u>

本製品の設定画面にログインした際、最初に表示される画面です。



 パラメーター
 内容

 拠点間接続(本社)/リモートア
 パネルをクリックすると、拠点間接続(本社)およびリモートアクセス
設定画面が表示されます。

 拠点間接続(支社)
 パネルをクリックすると、拠点間接続(支社)設定画面が表示されます。

 デバイスコントロール
 ネットワークに接続されている機器の台数が表示されます。

 詳細設定
 パネルをクリックすると、詳細設定画面が表示されます。
<u>拠点間接続(本社)/リモートアクセス</u>

拠点間接続時の本社側の設定、または外出先から本製品に接続するためのリモートアクセス設定を行う画面で す。



パラメーター	内容
拠点間接続(本社)	拠点間接続の本社側の設定を行う場合に選択します。
	設定手順の詳細は、第3章の「本社側の設定(PPTPサーバー設定)」を 参照してください。
リモートアクセス	外出先から本製品に接続するリモートアクセス設定を行う場合に選択し ます。
	設定手順の詳細は、第2章の「本製品の設定(リモートアクセス設定)」 を参照してください。

<u> 拠点間接続(支社)</u>

拠点間接続時の支社側の設定を行う画面です。

• 円 - 拠点間接続(支社)		
設定方法を選んでください。 ・ 設定ファイルを読み込む	参照	
〇手能で設定する		
灰る		×^
Broad Station BHR-4GRV2 Version X.XX		Copyright @ 2013 Buffalo Inc.

パラメーター	内容
	拠点間接続の支社側の設定を、別途作成した設定ファイルを使って行う 場合に選択します。
設定ノディルを読み込む	設定手順の詳細は、第3章の「支社側の設定(PPTPクライアント設定) 」を参照してください。
手動で設定する	拠点間接続の支社側の設定を、手動で行う場合に選択します。

<u>デバイスコントロール</u>

ネットワークに接続されている機器の状態を確認する画面です。

IP 💮 🥘	() ¹ 29-**	BHR-4GRV2 192.168.12.1	
PC-WIN7 192.168.12.99	Unknown 192.168.12.2	Unknown 192.168.12.3	

パラメーター	内容
IP	本製品に接続している各機器のIPアドレスが表示されます。
	本製品に接続している機器が表示されます。 アイコンがグレー表示でない場合は、アイコンをクリックすると、それ ぞれの機器の設定画面が表示されます。
	本製品に接続している機器が表示されます。 アイコンをクリックすると、それぞれの機器に対して、Wake On Lanパ ケットが送信されます。

詳細設定画面

Internet

Internet側ポートの設定を行う画面です。

---> Internet - Internet

IPアドレス取得方法	 インターネット@スタートを行う DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得 PPPoEクライアント機能を使用する IP Unnumberedを使用する 手動設定 IPアドレス サブドレス サブネットマスク 255.255.0
------------	--

※PPPoE接続先の設定はInternet/LAN設定 - PPPoE設定で行ってください

パラメーター	内容
IPアドレス取得方法	Internet側のIPアドレスの取得方法を指定します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイのIPアドレスを設定します。
DNS(ネーム)サーバーアドレ ス	DNSサーバーのIPアドレスを指定します。
Internet側MACアドレス	Internet側インターフェースのMACアドレスを設定します。 不適切なMACアドレスを設定すると、本製品だけでなく、ネットワーク 上の他の機器も使用できなくなります。この設定は、お客様の責任にお いて行ってください。
Internet側MTU値	Internet側インターフェース(Internet端子)で通信を行うときに使用するMTUを578~1500バイトの範囲で設定します。

PPPoE

PPPoEに関する設定を行う画面です。

---> Internet – PPPoE

デフォルトの接続先	1 : Internet@Start	¥
IP Unnumbered使用時の接続先	1 : Internet@Start	~

PPPoE接続先リスト 接続先Nb. 名称 状態 1 Internet@Start 有効

接続先の編集

接続先経路の表示

Nb. 接続先 宛先アドレス 接続経路は登録されていません

接続先経路の編集

パラメーター	内容
デフォルトの接続先	PPPoE接続先リストで複数の接続先を登録している場合、ここで選択 した接続先が優先されます。デフォルト以外の接続先を用いるとき は、PPPoEの接続先経路設定を別途行う必要があります。
IP Unnumbered使用時の接続先	IP Unnumbered使用時の接続先を、PPPoE接続先リストに登録されてい る接続先の中から選択します。
PPPoE接続先リスト	PPPoEの接続先の編集ができます。最大5セッションまで登録可能です。
接続先の編集	クリックすると、接続先の設定を編集する画面が表示されます。

パラメーター	内容
	[接続先の編集]をクリックすると表示されます。
	接続先名称
	接続先を識別するための名称を32文字までの半角英数字記号で入力します。
	接続先ユーザー名
	PPPoEの認証に使用するプロバイダー指定のユーザー名を64文字までの 半角英数字記号で設定します。
	接続先パスワード
	PPPoEの認証に使用するプロバイダー指定のパスワードを64文字までの 半角英数字記号で設定します。
	サービス名
	プロバイダーからサービス名の指定がある場合のみ64文字までの半角英 数字記号で設定します。
	プロバイダーから指定されなければ、空欄のままにします。
	接続方法
	本製品がプロバイダーに接続するタイミングを指定します。
PPPoE接続先リスト	自動切断
	接続方法が「オンデマンド接続」または「手動接続」のときに、通信が 停止してから、回線の使用を停止するまでの時間を0~1440分の範囲で 設定します。
	認証方法
	プロバイダーとの認証方法を設定します。
	MTU值
	PPPoE上で、通信を行うときに使用するMTU値を578~1492バイトの範 囲で設定します。
	MRU值
	PPPoE上で通信を行うときに使用するMRU値を578~1492バイトの範囲 で設定します。
	キープアライブ
	有効にすると、本製品はPPPoEサーバーとの接続を維持するために、LCP
	エコーリクエストを1分に1度発行します。このとき、6分以上サーバー
	切応合かない場合は、凹線が切断されたものと判断し、接続をいうたん 切断します。頻繁にPPPoF接続が切断される場合は、キープアライブに
	応答を返さないサーバーである可能性があるため、無効に設定してくだ
	さい。
接続先経路の表示	接続先経路を設定すると、設定した情報が表示されます。
接続先経路の編集	クリックすると、接続先経路を編集する画面が表示されます。
	[接続先経路の編集]をクリックすると表示されます。
接続先経路の新規追加	「宛先アドレス」や「送信元アドレス」か一致する通信の場合にPPPoE 接続を行う接続先です。PPPoE接続先リストに登録されている接続先か ら選択します。
	宛先アドレス
	通信の宛先アドレスです。このアドレス宛へ通信を行うと、設定した「 接続先」へ通信します。

DDNS

ダイナミックDNSに関する設定を行う画面です。

---> Internet - DDNS

ダイナミックDNS機能使用しない
・

 ダイナミックDNS設定情報

 Internet側IPアドレス
 IPアドレス未取得

 ドメイン名
 未設定

 状態
 未設定

 現在の状態を表示する

パラメーター	内容
ダイナミックDNS機能	ダイナミックDNSサービスプロバイダーを「BUFFALOダイナミック DNS」、「DynDNS」から選択します。
登録/変更設定 (BUFFALOダイナミックDNS選 択時のみ)	[登録/設定変更を行う]をクリックすると、バッファローサイトに接続 します。画面上の手続きに従って、BUFFALOダイナミックDNSサービス の登録を行ってください。
登録ユーザーID (BUFFALOダイナミックDNS選 択時のみ)	BUFFALOダイナミックDNSサービスに登録されているユーザーIDが表示 されます。
登録情報の削除 (BUFFALOダイナミックDNS選 択時のみ)	[登録情報を削除する]をクリックすると、BUFFALOダイナミックDNS サービスの登録情報が削除されます。
ユーザー名 (DynDNS選択時のみ)	DynDNSに登録したユーザー名を入力します。
パスワード (DynDNS選択時のみ)	DynDNSに登録したパスワードを入力します。
ホスト名 (DynDNS選択時のみ)	DynDNSに登録したホスト名を入力します。
IPアドレス更新周期	DynDNSにIPアドレスを通知する周期を指定します。
Internet側IPアドレス	Internet側のIPアドレスが表示されます。
ドメイン名	ダイナミックDNSサービスプロバイダーから割り当てられたドメイン名 が表示されます。
状態	ダイナミックDNSサービスの状態が表示されます。

PPTPクライアント

PPTPクライアントに関する設定を行う画面です。

---> Internet - PPTPクライアント

PPTPクライアント機能	□ 使用する	
接続先サーバーアドレス		
接続先ユーザー名		
接続先バスワード	□ バスワードを表示する	
[拡張設定]		
接続方法 常時指	続	
ロチャレッドム 切断条(# 送受信ともにない場合 ✔	

自動切断	《土地和中国 日	
	144%*4181	カ(い方では自動の助しません)
認証方法	自動認証	\checkmark
MTU値	1408 /irth	
MRU値	1408 /irth	
キーブアライブ	🗌 使用する	
RIP送受信機能	☑ 使用する	
デフォルトルート	 PPTP接続先をデ 	フォルトルートにする

 接続先ネットワークの表示
 宛先アドレス サブネットマスク 接続先ネットワークは登録されていません
 接続先ネットワークの編集

パラメーター	内容
PPTPクライアント機能	PPTPクライアント機能を使用するかどうかを設定します。
接続先サーバーアドレス	接続するPPTPサーバーのドメイン名もしくはIPアドレスを入力します。
接続先ユーザー名	PPTPの認証に使用するユーザー名を64文字までの半角英数字記号で設定します。
接続先パスワード	PPTPの認証に使用するパスワードを64文字までの半角英数字記号で設定します。
接続方法	本製品がPPTPサーバーに接続するタイミングを指定します。
自動切断	接続方法が「オンデマンド接続」または「手動接続」のときに、通信が 停止してから、回線の使用を停止するまでの時間を0~1440分の範囲で 設定します。
認証方法	PPTPサーバーとの認証方法を設定します。
MTU值	PPTP上で、通信を行うときに使用するMTU値を578~1500の範囲で設定 します。
MRU值	PPTP上で通信を行う際に使用するMRU値を578~1500の範囲で設定します。
キープアライブ	キープアライブを有効にすると、本製品はPPTPサーバーとの接続を維持するために、LCPエコーリクエストを1分に1度発行します。このと き、6分以上サーバーの応答がない場合は、回線が切断されたものと判断 し、接続をいったん切断します。頻繁にPPTP接続が切断される場合は、 キープアライブに応答を返さないサーバーである可能性があるため、「 無効」に設定してください。
RIP送受信機能	RIP情報を使用して、PPTPサーバーと経路情報の送信や受信を行うかどうかを設定します。

パラメーター	内容
デフォルトルート	Internet側にアクセスする際、必ずPPTPサーバーを経由させるかどうか を設定します。
接続先ネットワークの表示	PPTPでの接続先に存在するネットワークの一覧を表示します。新しく ネットワークを登録する場合は、 [接続先ネットワークの編集]をクリ ックして、「宛先アドレス」と「サブネットマスク」を設定してくださ い。
[接続先ネットワークの編集]	クリックすると、接続先ネットワークを登録する画面が表示されます。
接続先ネットワークの新規追加	[接続先ネットワークの編集]をクリックすると表示されます。 宛先アドレス
	PPTPでの接続先に存在するネットワークのIPアドレスとサブネットマス クを設定します。
接続先ネットワークの表示/操作	登録した接続先ネットワークの確認と編集ができます。

PPTPサーバー

PPTPサーバーに関する設定を行う画面です。

>	> Internet	– PPTI	Pサーバー
	PPTPサーバー機能 🗌 _使 認証方式 MS-C	用する HAPv2認証(40/128	bits暗号鍵 🖌
	[拡張設定]		
	サーバーIPアドレス	 ● 自動設定 ○ 手動設定 	.31.158.1
	クライアント IPアドレス	 ● 自動設定 ○ 手動設定 172 	.31.158.2 から10 台
	DNSサーバーのIPアドレス	 ブロードステージ 手動設定 通知しない 	rョンのLAN側IPアドレス
	WINSサーバーのIPアドレス		
	MTU/MRU值	1396	
	PPTP接続ユーザーの表示 接続ユーザー名 接続状態 PPTP接続ユーザーは登録 PPTP接続ユーザーの編集	R IPアドレス 操作 されていません]	
	PPTP接続ユーザー経路の 接続ユーザー名 宛先アドレ PPTP接続ユーザー経路は PPTP接続ユーザー経路の編)表示 ッス サブネットマス 登録されていません 集	<i>.</i> ク
[現在の状態を表示		
パラン	メーター		内容

パラメーター	内容
PPTPサーバー機能	PPTPサーバー機能を使用するかどうかを設定します。

パラメーター	内容
認証方式	PPTPクライアントが接続してきた際に使用する認証方式を設定します。
サーバーIPアドレス	PPTPクライアントが接続した際、クライアントに通知するサーバー側の IPアドレスを設定します。
クライアントIPアドレス	PPTPクライアントが接続した際、クライアントに割り当てるIPアドレスの範囲を設定します。
DNSサーバーのIPアドレス	PPTPクライアントに通知するDNSサーバーアドレスを設定します。
WINSサーバーのIPアドレス	PPTPクライアントに通知するWINSサーバーアドレスを設定します。
MTU/MRU値	PPTP上で、通信を行う際に使用するMTU/MRU値を578~1500バイトの 範囲で設定します。
PPTP接続ユーザーの表示	PPTP接続ユーザー情報の確認と編集ができます。最大10ユーザーまで登録可能です。
[PPTP接続ユーザーの編集]	クリックすると、PPTP接続ユーザー情報を編集する画面が表示されます。
PPTP接続ユーザーの新規追加	[PPTP接続ユーザーの編集]をクリックすると表示されます。 接続ユーザー名 PPTPクライアントから本商品に接続する際に使用するユーザー名を半角 英数字、および「"」、「/」、「/」、スペースを除く半角記号を16文字 までで入力します。 パスワード PPTPクライアントから本商品に接続する際に使用するパスワードを半角 英数字、および「"」、「/」、「/」、スペースを除く半角記号を16文字 までで入力します。 IPアドレス割り当て方法 PPTPクライアントから本商品に接続した際に、PPTPクライアントに割 り当てるIPアドレスの割り当て方法を指定します。
PPTP接続ユーザー経路の表示	PPTP接続ユーザー経路情報の確認と編集ができます。1ユーザーあたり 10個の経路(最大100経路)まで登録可能です。
[PPTP接続ユーザー経路の編 集]	クリックすると、PPTP接続ユーザー経路情報を編集する画面が表示され ます。
PPTP接続ユーザー経路の新規追 加	[PPTP接続ユーザー経路の編集]をクリックすると表示されます。 接続ユーザー名 経路を登録するユーザーを選択します。 宛先アドレス 宛先のIPアドレスまたはネットワークアドレスを設定します。

<u>アドレス変換</u>

アドレス変換機能に関する設定を行う画面です。

---> Internet - アドレス変換

アドレス変換 🗹 使用する

パラメーター	内容
アドレス変換	アドレス変換機能を使用するかどうかを設定します。

RIP

RIP(Routing Information Protocol)の設定を行う画面です。

---> Internet - RIP

Internet側RIP送信	なし	\checkmark
Internet側RIP受信	なし	\checkmark
LAN側RIP送信	なし	~
LAN側RIP受信	RIP1とRIP2両方	$\mathbf{\sim}$

パラメーター	内容
Internet側RIP送信	本製品がInternet側に送信するRIP情報の設定をします。
Internet側RIP受信	本製品がInternet側から受信するRIP情報の設定をします。
LAN側RIP送信	本製品がLAN側に送信するRIP情報の設定をします。
LAN側RIP受信	本製品がLAN側から受信するRIP情報の設定をします。

LAN

LAN側ポートの設定を行う画面です。

---> LAN - LAN

LAN側IPアドレス	IPアドレス 192.168.12.1 サブネットマスク 255.255.255.0 ✔	
DHCPサーバー機能	☑ 使用する	
割り当てIPアドレス	192.168.12.2 から 64 台 除外IPアドレス:	
LAN側IPアドレス (IP Unnumbered用)	■アドレス サブネットマスク 255.255.255.0	
DHCPサーバー設定[拡張設定]		

拡張設定 ☑ 表示する

リース期間	48 時間
デフォルトゲートウェイの通知	 ブロードステーションのLAN側Pアドレス (192.168.12.1) 指定したIPアドレス 通知しない
DNSサーバーの通知	 ブロードステーションのLAN側IPアドレス ブロードステーションのLAN側IPアドレス 指定したIPアドレス ブライマリー セカンダリー 通知しない 通知しない
WINSサーバーの通知	 取得済みのWINSサーバーアドレス (なし) 指定したIPアドレス 通知しない
ドメイン名の通知	 取得済みのドメイン名 (なし) 指定したドメイン名 通知しない

パラメーター	内容
LAN側IPアドレス	LAN側IPアドレスとサブネットマスクを設定します。
DHCPサーバー機能	DHCPサーバー(IPアドレス自動割り当て)機能を使用するかどうかを設定します。
割り当てIPアドレス	DHCPサーバー機能で割り当てるIPアドレスの範囲とその範囲から除外するIPアドレスを設定します。
LAN側IPアドレス(IP Unnumbered用)	IP Unnumberedを利用するときに使用するLAN側IPアドレスを設定します。 通常のLAN側のIPアドレスを持つパソコンと、IP Unnumbered用のLAN 側IPアドレスを持つパソコン間では通信を行うことができません。
拡張設定	「表示する」を選択すると、DHCPサーバーの拡張設定項目が表示されます。
リース期間	DHCPサーバー機能で割り当てたIPアドレスの有効期間を設定します。
デフォルトゲートウェイの通知	DHCPサーバー機能で通知するデフォルトゲートウェイのIPアドレスを設 定します。
DNSサーバーの通知	DHCPサーバー機能で通知するDNSサーバーのIPアドレスを設定します。
WINSサーバーの通知	DHCPサーバー機能で通知するWINSサーバーのIPアドレスを設定します。
ドメイン名の通知	DHCPサーバー機能で通知するドメイン名を設定します。

DHCPリース

DHCPリースに関する設定を行う画面です。

---> LAN - DHCPリース

リース情報

 IPアドレス
 MACアドレス
 リース期限
 状態
 操作

 192.168.12.2(*)
 XXXXXXXXXXXX
 expired
 自動割当
 手動割当に変更

 (*) 設定画面を表示している機器のアアドレス(192.168.12.2)

現在の状態を表示

パラメーター	内容
	現在のリース情報が表示されます。
リース情報	自動リースされたIPアドレスは、 [手動割当に変更] をクリックする と、手動リースに変更することができます。
[リース情報の追加]	クリックすると、リース情報の追加画面が表示されます。
	[リース情報の追加]をクリックすると表示されます。
	IPアドレス
リース情報の新規追加	手動リースするIPアドレスを入力します。本製品のLAN端子のネットワ ークアドレスに含まれないIPアドレスを設定することはできません。
	MACアドレス
	機器を識別するMACアドレスを入力します。

経路情報

本製品が行う通信のIP経路の設定を行う画面です。

---> LAN - 経路情報

経路情報

宛先アドレス サブネットマスク ゲートウェイ メトリック 状態 操作 経路情報はありません

新規追加

パラメーター	内容
宛先アドレス	ルーティングテーブルに追加する宛先IPアドレスとサブネットマスクを 設定します。
ゲートウェイ	ルーティングテーブルに追加するゲートウェイのアドレスを設定しま す。
メトリック	ルーティングテーブルに追加するメトリック(宛先アドレスまでに越え るルーター数)を設定します。
経路情報	手動で追加したルーティングテーブルを確認することができます。

パラメーター	内容
[新規追加]	クリックすると、経路情報の追加画面が表示されます。
	[新規追加]をクリックすると表示されます。
	宛先アドレス
	ルーティングテーブルに追加する宛先IPアドレスとサブネットマスクを 設定します。
経路の新規追加	ゲートウェイ
	ルーティングテーブルに追加するゲートウェイのアドレスを設定しま す。
	メトリック
	ルーティングテーブルに追加するメトリック(宛先アドレスまでに越え るルーター数)を設定します

セキュリティー

<u>ファイアウォール</u>

本製品のファイアウォール機能を設定する画面です。

---> セキュリティー - ファイアウォール

有効	簡易ルール	バケット数
	NBTとMicrosoft-DSのルーティングを禁止する PPPoE1: Internet@Startで禁止する	0
~	DENTの要求を拒否する	0
✓	hternet側からのPINGに応答しない □ PPPoE1: Internet@Startで応答しない	0

パラメーター	内容
	簡易フィルターを使用するかどうかを設定します。
	各フィルターの内容は以下の通りです。
	NBIとMicrosoft-DSのルーティンクを禁止する
簡易ルール	有効にすると、Internet側からLAN側およびLAN側からInternet側への Microsoftネットワーク共有機能は使用できなくなります。
	IDENTの要求を拒否する
	有効にすると、Internet側からのIDENTの認証要求に対して拒否パケットを送ります。メール送信、ftp、ブラウザー等のネットワークアプリケーションの通信が遅くなる場合に設定してください。アドレス変換設定で、IDENTの要求をLAN側パソコンに転送する設定(DMZまたはTCPポート:113)になっている場合、そちらの設定が優先され、この設定を有効にしても機能は動作しません。
	Internet側からのPINGに応答しない
	有効にすると、Internet側からのPINGに応答しなくなります。

<u>IPフィルター</u>

LAN側とInternet側の間で通過するパケットに関するIPフィルターの編集を行う画面です。

---> セキュリティー - IPフィルター

アフィルターの 新規追加		
動作	無視 ~	
方向	Internet->LAN	✓
IPアドレス	送信元:	-> 宛先:
	○すべて	
	O ICMP	
プロトコル	○ 任意	プロトコル番号:
	• TCP/UDP	任意のTCPポート ✓ 指定の仕方 任意のTCP/UDPポート:
追加		

IPフィルター登録情報

動作 方向 送信元アドレス プロトコル バケット数 操作 宛先アドレス プロトコル バケット数 操作 IPフィルターは登録されていません

パラメーター	内容
動作	対象となるパケットの処理方法を指定します。
方向	対象となるパケットの通信方向を指定します。
IPアドレス	対象となるパケットの送信元IPアドレスと宛先IPアドレスを指定しま す。
プロトコル	対象となる通信パケットのプロトコルを選択します。
IPフィルター登録情報	登録されているIPフィルターを一覧で表示します。

VPNパススルー

IPv6パススルー、PPPoEパススルー、PPTPパススルーに関する設定を行う画面です。

---> セキュリティー - VPNパススルー

フレッツIPv6サービス対応機能	☑ 使用する
PPPoEバススルー機能	🗌 使用する
PPTPバススルー	☑ 使用する

パラメーター	内容
フレッツIPv6サービス対応機能	アドレス変換においてフレッツIPv6サービス対応機能を使用するかどう かを設定します。

パラメーター	内容
	PPPoEパススルー機能を使用するかどうかを設定します。
PPPoEパススルー機能	PPPoEパススルー機能を使用すると、PPPoEパケットがInternet - LAN間ですべて通過可能となり、LAN側に接続したパソコンでPPPoEプロトコルを使用してプロバイダーからIPアドレスを自動取得することができるようになります。
PPTPパススルー	アドレス変換において、PPTPパススルー機能を使用するかどうかを設定 します。

<u>ポート変換</u>

ポート変換に関する設定を行う画面です。

---> セキュリティー - ポート変換

ポート変換の新規追加

グループ	新規追加 🗸	新規追加
Internet側IPアドレス	ブロードステーションのInternet側IPアドレス ・ 手動設定	
	○ すべて	
	O ICMP	
プロトコル	○ 任意	プロトコル番号:
	• TCP/UDP	任意のTCPボート ✓ 指定の仕方 任意のTCP/UDPボート:
LAN側IPアドレス	192.168.12.2	
LAN側ボート	TCP/UDPポート	
新規追加		

ポート変換登録情報

グループ Internet側IPアドレス プロトコル 操作 LAN側IPアドレス LAN側ボート 操作 ボート変換設定は登録されていません

パラメーター	内容
グループ	登録するルールが属するグループを指定します。 [新規追加] を選択し て新規グループ名を入力すると、新たなグループを作成します。英数字 で16文字までのグループ名を付けることが可能です。
Internet側IPアドレス	ポート変換テーブルに追加するInternet側(変換前)のIPアドレスを設定 します。
プロトコル	ポート変換テーブルに追加するInternet側(変換前)のプロトコルを設定 します。
LAN側IPアドレス	ポート変換テーブルに追加するLAN側(変換後)のIPアドレスを設定し ます。
LAN側ポート	ポート変換テーブルに追加するLAN側(変換後)のポート番号(1 ~65535)を設定します。
ポート変換登録情報	現在設定されているポート変換テーブルの有効/無効の指定を行います。

DMZ

LAN側からの通信と無関係な通信パケットの転送先を設定する画面です。

---> セキュリティー - DMZ

DMZのアドレス

※設定画面を表示している機器のIPアドレス[192.168.12.2]

パラメーター	内容
DMZのアドレス	ポート変換テーブルに設定されていないパケットの転送先IPアドレスを 設定します。 (RIPプロトコル(UDPポート番号520)のパケットは、転送されませ ん)

<u>UPnP</u>

UPnP(Universal Plug and Play)に関する設定を行う画面です。

---> セキュリティー - UPnP

UPnP機能 🗹 使用する

パラメーター	内容
UPnP機能	Universal Plug and Play(UPnP)機能を使用するかどうかを設定します。

アプリケーション

<u>スケジュール</u>

本製品の節電機能の設定を行う画面です。



省電力
省電力 🗌 使用する
ユーザー定義モード
ランブ <u>オフ マ</u>
有線LAN(低速動作) ✔
週間スケジュール
00 02 04 06 08 10 12 14 16 18 20 22
Я
火
*
*
金
±
■ 通常動作 📕 スリープ 🔜 ユーザー定義

スケジュール登録

動作モード	通常動作 🗸
開始時間	0:00 🗸
終了時間	0:30 🗸
曜日	
追加	

パラメーター	内容
省電力	あらかじめ登録したスケジュールにしたがって、節電機能を使用するか どうかを設定します。

パラメーター	内容	
	節電の内容について、「ランプ」、「有線LAN」を組み合わせて設定し ます。	
	ランプ	
	節電時のランプの動作を設定します。	
ㅋ#	通常動作の場合、ランプが点灯します。	
ユーリー定義モート	オフの場合、ランプがOFFになります。	
	有線LAN	
	節電時のLAN端子/INTERNET端子の動作を設定します。	
	通常動作の場合、最大1000 Mbpsで通信を行います。	
	エコ(低速動作)の場合、最大通信速度が100 Mbps/10 Mbps自動で動	
	作します。	
週間スケジュール	「スケジュール登録」で設定したスケジュールが表示されます。	
	節電の開始/終了スケジュールについて、「動作モード」、「開始時間」 、「終了時間」、「曜日」を組み合わせて設定します。	
	│動作モード	
	節電時の動作モードを設定します。	
	通常動作の場合、省電力機能を使用せず動作します。	
スケジュール登録	ユーザ定義の場合、「ユーザ定義モード」で設定した動作を行います。	
	開始時間	
	開始時間を0:00~23:30まで30分単位で設定します。	
	終了時間	
	終了時間を0:30~24:00まで30分単位で設定します。	
	曜日	
	スケジュールを実行する曜日を設定します。	

管理

<u>システム設定</u>

本製品のシステムに関する設定する画面です。

---> 管理 - システム設定

システム情報

ブロードステーション名 APXXXXXXXXXXXXX
管理ユーザー名 admin (変更することはできません)
管理バスワード ●●●●●●●● □ バスワードを表示する
設定用ホスト名
有効 制限項目 バケット数
Internet側リモートアクセス設定
 1 新取得日 hternet(削リモートアクセス設定を許可する
デバイスコント ロール
有効 制限項目
 デバイスのwwwポート監視を禁止する
時刻
NTP機能 使用する
サーバー名 Intp.jst.mfeed.ad.jp
確認時間 24 時間每
日付 2014 年 4 月 9 日
時刻 15時58分36秒
タイムゾーン (GMT+09:00)東京、大阪、ソウル

現在の時刻を表示 現在アクセス中のパソコンから時刻を取得

パラメーター	内容
ブロードステーション名	本製品の名称を半角英数字と「-」で、64文字までで設定します。
管理ユーザー名	本製品の設定画面ヘログインするときのユーザ名です。「admin」以外 に変更できません。
管理パスワード	本製品の設定画面ヘログインするときのパスワードを半角英数字と「_」 で、8文字までで設定します。
有線LANからの設定を禁止する	本製品のLAN端子に接続された機器から本製品の設定をできないように します。

パラメーター	内容
Internet側リモートアクセス設定 を許可する	Internetに接続されたネットワーク機器から本製品の設定画面へのアクセスを制限するかどうかを設定します。
	アクセスを許可する場合は、許可IPアドレスと許可ポートを別途設定し ます。
デバイスのwwwポート監視を禁	チェックマークを付けると、本製品はWeb設定画面を持つ機器の検出を 中止します。
止する	セキュリティーソフトなどが本製品からのポートスキャンを警告する場 合は、チェックマークを付けてください。
NTP機能	本製品の内部時計をNTPサーバーを使って設定するかどうかを指定しま す。
サーバー名	NTPサーバーの名称をホスト名、ドメイン名つきホスト名、IPアドレス のいずれかで設定します。
確認時間	NTPサーバーに時刻を問い合わせる周期(1~24時間毎)を設定します。
日付	本製品の内部時計の日付を手動で設定します。
時刻	本製品の内部時計の時刻を手動で設定します。
タイムゾーン	本製品の内部時計のタイムゾーン(グリニッジ標準時からの時差)を指 定します。

<u>ログ</u>

syslogによる本製品のログ情報を転送するための設定を行う画面です。

管理 – ログ ---->

syslog設定

ログ情報転送機能	□使用する	
syslogサーバー		
転送するログ情報	 ✓ アドレス変換 ✓ ファイアウォール ✓ ダイナミックDNS ✓ DHOPサーバー ✓ 設定変更 ✓ NTPクライアント ✓ システム 	 ✓ IP フィルター ✓ PPPクライアント ✓ DHCPクライアント ✓ 認証 ✓ システム起動 ✓ 有線リンク
すべて選択 すべ	て解除	

[拡張設定]

詳細なログ取得
コアドレス変換
□アバルター
□アバアウォール
□アクセスフィルター

パラメーター	内容
ログ情報転送機能	ログ情報転送機能を使用するかどうかを設定します。
syslogサーバー	syslogサーバーのアドレスをホスト名、ドメイン名つきホスト名、IPアド レスのいずれかで設定します。
転送するログ情報	表示するログ情報の種類を設定します。
詳細なログ取得	「アドレス変換」、「IPフィルター」、「ファイアウォール」、「アク セスフィルター」に関するログ情報を取得するかどうかを設定します。

設定管理/再起動

本製品の設定を保存・復元したり、本製品の初期化/再起動を行う画面です。

---> 管理 - 設定管理/再起動

設定管理	
操作	 ● 設定ファイルを保存する ● 設定ファイルを復元する ● 設定を初期化する
バスワード	 □ バスワードを使用する □ バスワードを表示する
設定操作実	Ī
再起動	
再起動 一	コードステーションを再起動します。 再起動

パラメーター	内容
	操作内容を選択します。
	設定ファイルを保存する
	本製品の設定内容を設定ファイルに保存します。
	[設定操作実行]をクリックしてください。
	設定ファイルをパスワードで暗号化する場合は、「パスワードを使用す
	る」にチェックマークをつけ、[設定操作実行]をクリックしてくださ
操作	設定ファイルを復元する
	本製品の設定を、設定ファイルから復元します。
	「設定ファイル」欄の[ファイルを選択]をクリックして設定ファイル
	を指定し、[設定操作実行]をクリックしてください。
	設定ファイルがパスワードで暗号化されている場合は、「パスワードを
	使用する」にチェックマークをつけ、「設定操作実行」をクリックして ください
	設定を初期化する
	本製品の設定を初期化して、再起動します。
	「設定操作実行」をクリックしてください。
	クリックすると、本製品が再起動します。

<u>ファームウェア更新</u>

本製品のファームウェアを更新するための画面です。

---> 管理 - ファームウェア更新

ファームウェア バージョン	BHR-4G RV2 Ver. X.XX
更新方法	 ローカルファイル指定 自動更新(オンラインバージョンアップ)
ファームウェア ファイル名	参照
更新実行	
※ファームウェ	アは、下のリンクからダウンロードできます。
	<u>ファームウェアダウンロードサイト</u>

[拡張設定]		
ファームウェア 更新通知機能	☑ 使用する	
確認時間	AUTO	\checkmark
設定		

パラメーター	内容
ファームウェアバージョン	現在のファームウェアバージョンを表示します。
	ファームウェアの更新方法を設定します。
	ローカルファイル指定
更新方法	パソコンに保存されているファームウェアファイルを使用して更新を行 います。
	自動更新(オンラインバージョンアップ)
	インターネットから自動的に最新のファームウェアファイルをダウンロ ードして更新を行います。
ファームウェアファイル名	「ローカルファイル指定」時にファームウェアファイル名を指定しま す。
ファームウェア更新通知機能	新しいファームウェアがリリースされている場合に、設定画面上に通知 する機能を使用するかどうかを設定します。
確認時間	新しいファームウェアがリリースされているかを本製品がチェックする 時間を設定します。「AUTO」に設定すると、確認時間が自動的に決定さ れます。

ステータス

システム

本製品の現在の状態が表示されます。

---> ステータス - システム

製品名	BHR-4GRV2 Version X.XX(RX.XX/BX.XX)		
ブロードステーション名	AP>000000000000000000000000000000000000		
	IPアドレス取得方法	インターネット@スタートを行う- PPPoE接続	
	接続先 接続状態 操作	Internet@Start(デフォルトの接続先) 通信中 停止	
_	IPアドレス	200000000000000000000000000000000000000	
Internet	PPPサーバーIP	XXXXXXXXXXXX	
	DNS (フライマリー) DNS 2(セッカンダリー)	×××××××××××××××××××××××××××××××××××××	
	MTU值	1454	
	ー 有線リンク MACアドレス	100Base-TX(全二 <u>重</u>) XXXXXXXXXXXXXX	
LAN	IPアドレス サブネットマスク DHCPサーバー MACアドレス	192.168.12.1 255.255.255.0 有効 XXXXXXXXXXXXXXXX	
エコモード	状態	スケジュール機能無効	

現在の状態を表示

パラメーター	内容
製品名	本製品の製品名とファームウェアのバージョンが表示されます。
ブロードステーション名	ブロードステーション名が表示されます。
Internet	Internetポートの情報が表示されます。
LAN	LANポートの情報が表示されます。
エコモード	節電の状態が表示されます。

ログ

本製品に記録されているログ情報を確認する画面です。

---> ステータス - ログ

表示するログ情報	 アドレス変換 ファイアウォー ダイナミックDI DHCPサーバ・ 設定変更 NTPクライアン システム 	 ✓ IPフィルター ル ● PPPクライアント NS ● DKOPクライアント ✓ 認証 ● システム起動 水 ● 有線リンク 		
表示 すべて選択 すべて解除				
ログ情報				
ファイル (logfile.log)	こ保存する		消去	
ファイル(logfile.log) 日付時刻	こ保存する 種類	ログ内容	消去	
ファイル (logfile.log) 日付時刻 2014/04/09 15:52:23	こ保存する 種類 AUTH	ログ内容 Admin login from source 192.168.		
ファイル (logfile.log) 日付時刻 2014/04/09 15:52:23 2014/04/09 15:52:00	こ保存する 種類 AUTH NTP	ログ内容 Admin login from source 192.168. SUCCESS: set time : Wed Apr 09	<u>消去</u> 12.2 15:52:00 2014	

パラメーター	内容
表示するログ情報	表示するログ情報の種類を設定します。
ログ情報	本製品に記録されているログ情報が表示されます。

<u>通信パケット</u>

本製品が通信したパケットの合計を確認する画面です。

---> ステータス - 通信パケット

~ //	送信パケッ	い数	受信バケット数	
1/9-71-7	正常	エラー	正常	エラー
LAN側有線	34935	0	31297	0
Internet側有線	3101	0	2823	0
現在の状態を表示				

 パラメーター
 内容

 送信パケット数
 LAN側やInternet側に送信したパケット数とエラーパケット数が表示されます。

 受信パケット数
 LAN側やInternet側から受信したパケット数とエラーパケット数が表示されます。

<u>診断</u>

本製品からネットワーク上の他の機器との接続確認を行う画面です。

---> ステータス - 診断

宛先アドレ	ス 🗌		
実行			
実行結果			
宛先	未入力		
実行結果	未実行		

パラメーター	内容	
宛先アドレス	接続確認を行う機器のIPアドレス、またはホスト名を入力し、 をクリックすると、「実行結果」欄に結果が表示されます。	[実行]

第5章 本製品の各種設定

本章では、本製品の各種設定について説明します。

おまかせ節電機能を使って節電する

おまかせ節電機能は、あらかじめ登録したスケジュールにしたがって、本製品を省電力状態にすることで、消 費電力を抑える機能です。設定は以下の手順で行います。

- メモ:
- 節電機能は、ランプ(通常動作/オフ)、有線LAN(通常動作/エコ(低速動作)/オフ)の動作を切り替え ることにより電力消費を抑えます。
- 本製品の状態が切り替わる際、通信が一時的に切断されます。また、ユーザー定義で有線LANを有効(または低速動作)に設定していても、通信が一時的に切断されますので、通信中の場合はご注意ください。
- 1 第1章の「設定画面の表示方法」を参照して、本製品の設定画面を表示します。
- 2 「詳細設定」-「管理」-「システム設定」をクリックします。
- **3** NTP機能に「使用する」、サーバー名に「ntp.jst.mfeed.ad.jp」と表示されていることを確認します。



メモ:

- NTP(Network Time Protocol)とは、正しい時刻に時計を修正・同期する仕組みです。任意のNTPサーバーを設定することもできますが、特に問題ない限りは初期設定(ntp.jst.mfeed.ad.jp)をご使用ください。
- 節電機能の設定を行うには、NTP設定を有効にする必要があります。(出荷時設定では有効になっています)
- 4 「詳細設定」-「アプリケーション」-「スケジュール」をクリックします。

5 省電力で「使用する」にチェックマークを付け、ユーザー定義モードを設定して[設定]をクリックしま す。

省電力 省電力 ② 使用する
ユーザー定義モード
ランプ オフ ▼
有線LAN エコ(低速動作) ▼

メモ: ここでは例として、以下のように設定します。 設定例: ランプ - オフ 有線LAN - エコ(低速動作)

6 スケジュールを登録して [追加] をクリックします。

スケジュール登録 動作モード ユーザー定義 ▼ 開始時間 0:00 ▼ 終了時間 6:00 ▼ 曜日 月火水木金土 ■ ダ ダ ダ ダ

追加

メモ:ここでは例として、以下のように設定します。
設定例:
動作モード - ユーザー定義
開始時間 - 0:00
終了時間 - 6:00
曜日 - 月、火、水、木、金
※本製品に登録できるスケジュールは1つだけです。登録済みのスケジュールを変更したい場合は、新しいスケジュールで上書きしてください。

以上で設定は完了です。

ポートを開放する

- ポート変換設定を行うと、インターネットゲームを楽しんだり各種サーバー公開することができます。 メモ:
 - サーバーを公開する場合、固定グローバルIPアドレスの取得およびプロバイダーと別途契約が必要な場合 があります。
 - 手順はお使いの環境によって異なります。
 ネットワークゲームや各種サーバーを公開する場合など、あらかじめ利用するポート番号が分かっている場合は、以下を参照してください。
 利用するポート番号が不明な場合は、後述の「利用するポート番号が不明な場合」を参照してください。

ネットワークゲームや各種サーバーを公開する場合など、あ <u>らかじめ利用するポート番号が分かっている場合</u>

- 1 第1章の「設定画面の表示方法」を参照して、本製品の設定画面を表示します。
- 2 「詳細設定」-「セキュリティー」-「ポート変換」をクリックします。
- 3 各項目を設定し、 [新規追加] をクリックします。

ポート変換の新規追加

グループ	新規追加 ▼	新規追加: group1	
Internet側IPアドレス	[ブロードステーションのInternet側IPアドレス ▼ 手動設定:		
プロトコル	 すべて ICMP 任意 TCP/UDP 	ブロトコル番号: HTTP(TCPボート:80) ▼ <u>指定の仕方</u> 任意のTCP/UDPポート:	
LAN側IPアドレス	192.168.12.21	0	
LANI則ボート	TCP/UDPポート:		

グループ:

登録するルールが属するグループを指定します。 [新規追加]を選択すると、新たなグループを作成し、 そのグループに追加されます。新規追加時には半角英数字で16文字までのグループ名を付けることが可能 です。

Internet側IPアドレス:

公開する各種サーバーの固定グローバルIPアドレスを設定します。Internet側IPアドレスをPPPoEサーバー から取得している場合は各PPPoE接続先のInternet側IPアドレスを設定します。手動設定を選択したとき は、手動設定欄にIPアドレスを指定する必要があります。プロバイダーから複数の固定グローバルIPアド レス指定を受けている場合には、「手動設定」で本製品のInternet側IPアドレスに設定してあるアドレス以 外のグローバルIPアドレスを設定することが可能です。

プロトコル:

アドレス変換機能を使用するポートの種類を選択します。 [TCP/UDP] を選択したときは、ポートを設定します。

LAN側IPアドレス:

インターネットからのアクセスの宛先となるプライベートIPアドレスを設定します。

LAN側ポート:

変換プロトコルでTCP/UDPを指定し、単独のポート番号を指定したときは、LAN側のポート番号を変更することができます。

以上の設定の組み合わせにより、最大32種類の組み合わせを設定できます。

メモ:WWW(HTTP)サーバーを公開する場合は、以下のように設定すると、インターネットからのアクセスを任意のLAN側のWWWサーバーIPアドレスに転送できます。

グループ:

任意の名称(例:group1)を入力します。

Internet側IPアドレス:

[ブロードステーションのInternet側IPアドレス]を選択します。

プロトコル:

TCP/UDPを選択し、[HTTP(TCPポート:80)]を選択します。(任意のTCP/UDPポートは空欄) LAN側IPアドレス/LAN側ポート: LAN側IPアドレスは、サーバーIPアドレス(例:192.168.11.210)を入力します。LAN側ポートは、空欄にし ます。

1 設定内容が登録されていることを確認します。

ポート変換登録情報

グループ	Internet側IPアドレス LAN側IPアドレス	ブロトコル LAN側ボート	操作	
group 1	ブロードステーションのInternet側IPアドレス 192.168.12.210	HTTP(TCPポート:80) HTTP(TCPポート:80)	OFF	修正 削除

以上で設定は完了です。

<u>利用するポート番号が不明な場合</u>

- 1 第1章の「設定画面の表示方法」を参照して、本製品の設定画面を表示します。
- **2** 「詳細設定」-「セキュリティー」-「DMZ」をクリックします。

3 DMZのアドレスを設定し、 [設定] をクリックします。

DMZのアドレス 192.168.12.210

※設定画面を表示している機器のIPアドレス[192.168.12.2]

メモ:

- DMZのアドレスは、インターネット側から送られてきたデータの宛先ポートが不明な場合に、そのデー タが転送されるLAN上のIPアドレスです。ここで設定されたIPアドレスの機器でのみ、ネットワークゲー ムなどを利用できます。
- ・ ポート変換の設定で [LAN側IPアドレス]を設定した場合は、そちらの設定が優先されます。
- ・ DMZを使用する場合は、機器側のIPアドレスをここで設定した値に固定する必要があります。
- ・ 使用するソフトや契約しているプロバイダーによっては、DMZを設定してもソフトウェアが動作しない 場合があります。
- DMZに設定した機器は、他のパソコンに比べてセキュリティーが低下するため、重要なデータなどをその機器に保存しないことをおすすめします。
- 安全のため、ファイアウォールの設定画面で、「NBTとMicrosoft-DSのルーティングを禁止する」を有効 にしておくことをおすすめします。

以上で設定は完了です。

フレッツ回線向けの設定をする(PPPoEマルチセッション)

本製品のPPPoEマルチセッション機能を使用して、1つの回線契約でプロバイダーとフレッツ回線向けサービス 情報サイトに同時に接続するには、以下の設定を行ってください。

- メモ:
- NTT東日本向けフレッツ・スクウェアは、2011年6月1日より、「サービス情報サイト」に名称が変更されました。
- ・ NTT西日本向けフレッツ・スクウェアは、2011年12月28日をもってサービス終了となりました。
- 1 第1章の「設定画面の表示方法」を参照して、本製品の設定画面を表示します。
- 2 本製品背面のINTERNET端子(青色の端子)からLANケーブルを取り外します。
- **3** 設定画面右上の XX に×マークが付くことを確認します。



- **4 ※** *を*クリックします。
- **5** 手順2で抜いたLANケーブルを、本製品背面のINTERNET端子(青色の端子)に再度接続し、「ケーブルを INTERNETポートに挿して再確認する」をクリックします。



6「PPPoE再設定を行う」をクリックします。



7 お使いの回線の種別に合わせて「プロバイダー情報の設定」を選択します。

フレッツ 光ネクストをお使いの方は「フレッツ 光ネクスト」を、それ以外の回線をお使いの方は、「Bフ レッツ/フレッツ・ADSL」を選択してください。

プロバイダー情報の設定(フレ	רשע)
電力系光通信(イオ、ビビック、コ い。	ミュファなど)のPPPoE接続設定を行う場合は「 <u>こちら</u> 」をクリックしてくださ
プロバイダー情報の設定	◎ Bフレッツ/フレッツ・ADSL ○ フレッツ 光ネクスト

8 「フレッツ 光ネクストサービス情報サイト」欄(フレッツ 光ネクスト用)または「サービス情報サイト」 欄(Bフレッツ/フレッツ・ADSL用)で、「NTT東日本」または「NTT西日本」を選択し、〔進む〕をクリ ックします。

フロバイター情報の設定(フレッ)	ש)	
電力系光通信(イオ、ビビック、コミュ い。	ファなど)のPPPoE接続設	定を行う場合は「 <u>ごちら</u> 」をクリックしてくださ
プロバイダー情報の設定	 Bフレッツ/フレッツ フレッツ 光ネクスト 	ADSL
接続先ユーザー名	x00000000	@ XXXX.XXXX.XXXX
接続先パスワード	 □ パスワードを表示す	3
DNS(ネーム)サーバーアドレス ※プロバイダーより指定がある場合の み	プライマリー: セカンダリー:	
サービス情報サイト ※フレッツ回線をお使いの場合のみ	NTT東日本	·
ブロードバンド映像サービス/IP電話 サービス ※フレッツIPv6サービスをお使いの 場合のみ	利用する (現在の設定:利用する) ※.IPv6に対応していない う危険性があります。 必要のない場合は「利	▼ い回線でこの機能を使用すると、セキュリティーを損れ 用しない」を選択してください。
戻る		進む

メモ:NTT西日本のサービスが終了しているため、「サービス情報サイト」欄では、「NTT西日本」は選択で きません。

9 「接続成功です」と表示されたら、 [設定完了] をクリックします。

接続確認			
	ケーブル OK	ррроеサーバー ок	名前解決 OK
	接続成功	JCJ !	
	上の枠内に「接続成功で	す」と表示されないときは、 <u>こちら</u> で現象	^{後を確認してください。}
	戻る	設定	[完了]

10 Webブラウザーを起動します。

- **11** Bフレッツ/フレッツ・ADSLをご契約の方は、アドレス欄に「www.flets」と入力して、Enterキーを押します。
 - フレッツ 光ライト/フレッツ 光ネクストをご契約の方は、アドレス欄に「v4flets-east.jp」(NTT東日本向 け)または「v4flets-west.jp」(NTT西日本向け)と入力して、Enterキーを押します。

<i>後</i> 新しいタブ - Windows Internet Explorer		
	www.flets	
🚖 お気に入り	🏉 新しいタブ	

12 サービス情報サイトが表示されます。

以上で設定は完了です。

Bフレッツなどで固定IPサービスを利用する(IP Unnumbered)

本製品は、IP Unnumbered機能に対応しています。IP Unnumbered機能を使用することで、プロバイダーから 配布された複数のグローバルIPアドレスを本製品に接続した機器で使用できます。ここでは例として、以下の場 合の設定例を説明します。

例:プロバイダーから「123.45.67.8(サブネットマスク255.255.255.248)」(固定 IPアドレス8個)というIPアドレスが割り当てられた場合

プロバイダーから配布された複数のグローバルIPアドレスを本製品に接続した機器で使用できます。ここでは例として、以下の場合の設定例を説明します。

Internet側アドレス(自動設定) - 123.45.67.8(ネットワークアドレス) LAN側アドレス(手動設定) - 123.45.67.9(ゲートウェイ) 1台目のパソコン(手動設定) - 123.45.67.10(グローバルIPアドレス) ・

5台目のパソコン(手動設定) - 123.45.67.14(グローバルIPアドレス) ブロードキャストアドレス - 123.45.67.15(ブロードキャストアドレス) サブネットマスク - 255.255.248

.

メモ: プロバイダーから送られてきた資料をよくお読みのうえで設定してください。

1 第1章の「設定画面の表示方法」を参照して、本製品の設定画面を表示します。

2 「詳細設定」-「Internet」-「Internet」をクリックします。

「IP Unnumberedを使用 9		[設定] をクリックしよ	9。
 インターネット@ インターネット@ DHCPサーバー: PPPoEクライアン IP Unnumbered? 手動設定 IPアドレス サブネットマスク 	スタートを行う からIPアドレスを自動取得 小機能を使用する を使用する 255.255.255.0 ▼		

※PPPoE接続先の設定はInternet/LAN設定 - <u>PPPoE設定</u>で行ってください

4 設定が保存されたら、「詳細設定」-「Internet」-「PPPoE」をクリックします。

5 「PPPoE接続先リスト」欄にある、 [接続先の編集] をクリックします。

PPPoE接続先リスト 接続先No. 名称 状態 1 Internet@Start 有効 接続先の編集

3



PPPoE接続先No.2の新規追加 接続先名称 Unnumbered 接続先ユーザー名 xxx@xxx.xxx.xxx.xxx 接続先バスワード □ バスワードを表示する サービス名 [拡張設定] 接続方法 常時接続 • 切断条件 送受信ともにない場合 ▼ 自動切断 待機時間 5 分(0分では自動切断しません) 認証方法 自動認証 • MTU値 1454 バイト パイト MRU値 1454 キーブアライブ 🕑 使用する 新規追加

メモ: プロバイダーから送られてきた資料をよくお読みのうえで設定してください。

7 接続先が登録されたら、 [編集を終了して前の画面へ戻る] をクリックします。

8 「IP Unnumbered使用時の接続先」を選択して、[設定]をクリックします。

デフォルトの接続先	1 : Internet@Start 🔻
IP Unnumbered使用時の接続先	1 : Internet@Start 🔻
	1 : Internet@Start
	2 : Unnumbered

9 設定が保存されたら、「詳細設定」-「LAN」-「LAN」をクリックします。

10本製品のLAN側IPアドレス(IP Unnumbered用)の設定をして、 [設定]をクリックします。



メモ: プロバイダーから送られてきた資料をよくお読みのうえで設定してください。

11 「LAN側IPアドレスを変更します」と表示されたら、 [設定] をクリックします。

12 プロバイダーから送られてきた資料を参照して、本製品に接続するパソコンのIPアドレスを設定します。

インターネット プロトコル バージョン 4 (1	rCP/IPv4)のプロパティ 🛛 🔀 💌		
全般			
ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することがで きます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせ てください。			
○ IP アドレスを自動的に取得する(Q)			
● 次の IP アドレスを使う(S):			
IP アドレス(I):	123 . 45 . 67 . 10		
サブネット マスク(山):	255 . 255 . 255 . 248		
デフォルト ゲートウェイ(<u>D</u>):	123 . 45 . 67 . 9		
DNS サーバーのアドレスを自動的に取得	する(<u>B</u>)		
─● 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):			
優先 DNS サーバー(<u>P</u>):	100 . 100 . 100 . 100		
代替 DNS サーバー(<u>A</u>):	200 . 200 . 200 . 200		
🗐 終了時に設定を検証する(L)	詳細設定(<u>)</u>		
	OK キャンセル		

以上で設定は完了です。
本製品のファームウェアバージョンを確認する

本製品のファームウェアのバージョンは、以下の手順で確認できます。

- 1 第1章の「設定画面の表示方法」を参照して、本製品の設定画面を表示します。
- 2 「詳細設定」をクリックします。

3 ファームウェアのバージョンを確認します。

製品名	BHR-4GRV2 Version	XXX (RXXX/BXXX)
ブロードステーション名	APX00000000000	
	IPアドレス取得方法	インターネット@スタートを行う - PPPoE接続

メモ: 製品名欄の「Version x.xx」の部分がファームウェアのバージョンです。

第6章 困ったときは

インターネットにつながらない

原因1 プロバイダーから提供された機器の電源が入っていない

プロバイダーから提供された機器と本製品がLANケーブルで正しく接続されているにもかかわらずインターネットに接続できない場合は、電源が入っているか確認してください。

原因2 インターネットに接続しようとする機器が本製品に接続されていない

インターネットに接続しようとする機器と本製品がLANケーブルで接続されているか確認してください。

原因3 インターネットの設定が間違っている

製品添付の取扱説明書を参照して、インターネットの設定をもう一度やり直してください。

前面のPOWER/DIAGランプが周期的に橙色に点滅している

5回周期の場合

本製品のInternet側のIPアドレスとLAN側のIPアドレスが同じネットワークアドレスになっています。本製品のLAN側のIPアドレスの設定を変更してください。

2、3回周期の場合

いったん本製品の電源をOFFにして、再度ONにしてください。それから2分程度経っても同じような症状が見られる場合は、本製品の故障が考えられます。当社のサポートセンターまでご連絡ください。

連続点滅の場合

設定保存中やファームウェアの更新中はPOWER/DIAGランプが連続点滅します。異常ではありませんので、そのままご使用ください。

設定画面が表示できない

原因1 本製品の動作が不安定になっている

本製品への負荷などにより、本製品の動作が不安定になっていることが考えられます。いったん本製品の電源 をOFFにして、再度ONにしてください。

原因2 設定用機器が本製品に接続されていない

設定用機器と本製品がLANケーブルで接続されているか確認してください。

外出先から接続できない/拠点間接続ができない

以下の手順で当社ホームページのQ&Aを参照してください。

- **1** 当社ホームページ(buffalo.jp)へアクセスします。
- 2 右上の検索欄に「5019」と入力し、 [検索]をクリックします。



3 Q&Aページが表示されます。 表示された内容に沿って、対策を行ってください。

設定を出荷時の状態に戻したい

本製品の設定を出荷時の状態に戻したい場合は、底面のRESETボタンを前面のPOWER/DIAGランプが橙色に点灯 するまで(約3秒間)押し続けてください。その後、本製品が再起動したら設定の初期化は完了です。

第7章 付録

製品仕様

有線LANインターフェース		
淮圳坦牧	IEEE 802.3 ab(1000BASE-T)/IEEE 802.3u(100BASE-TX)/	
	IEEE 802.3 (10BASE-T)	
「データ転送速度	10/100/1000 Mbps(自動認識)	
「データ伝送モード	半二重/全二重(自動認識)	
伝送路符号化方式	8B1Q4/PAM5(1000BASE-T)/4B5B/MLT-3(100BASE- TX)/マンチェスターコーディング(10BASE-T)	
スイッチング方式	ストア&フォワード方式	
端子	1000 BASE-T / 100 BASE-TX / 10 BASE-T 兼用端子(AUTO- MDIX)	
その他		
電源	AC 100 V 50/60 Hz	
消費電力	3.8 W(最大)	
外形寸法	35 (W) x 158 (H) x 165 (D) mm (本体のみ)	
重量	315g (本体のみ)	
動作環境	0~40℃、10~85%(結露しないこと)	

端子仕様

LAN端子/Internet端子仕様 形状(RJ-45型8極)



100BASE-TX/10BASE-T		
ピン番号	信号名	信号機能
1	RD+/TD+	受信データ(+)/送信データ(+)
2	RD-/TD-	受信データ(-)/送信データ(-)
3	TD+/RD+	送信データ(+)/受信データ(+)
4	(Not Use)	未使用
5	(Not Use)	未使用
6	TD-/RD-	送信データ(-)/受信データ(-)
7	(Not Use)	未使用
8	(Not Use)	未使用
1000BASE-T		
ピン番号	信号名	信号機能
1	BI_DA+/BI_DB+	送受信データA(+)/送受信データB(+)
2	BI_DA-/BI_DB-	送受信データA(-)/送受信データB(-)
3	BI_DB+/BI_DA+	送受信データB(+)/送受信データA(+)
4	BI_DC+/BI_DD+	送受信データC(+)/送受信データD(+)
5	BI_DC-/BI_DD-	送受信データC(-)/送受信データD(-)
6	BI_DB-/BI_DA-	送受信データB(-)/送受信データA(-)
7	BI_DD+/BI_DC+	送受信データD (+) /送受信データC (+)
8	BI_DD-/BI_DC-	送受信データD(-)/送受信データC(-)

メモ: ※AUTO-MDIX機能により、送信/受信データを自動的に切り替えます。

初期設定一覧

機能	パラメーター	出荷時設定
Internet	IPアドレス取得方法	インターネット@スタートを行う
	デフォルトゲートウェイ	_
	DNS(ネーム)サーバーアドレス	-
	Internet側MACアドレス	デフォルトのMACアドレスを使用
	Internet側MTU値	1500バイト
	デフォルトの接続先	未設定
	IP Unnumbered使用時の接続先	未設定
PPPOE	PPPoE接続先リスト	未設定
	接続先経路の表示	未設定
DDNS	ダイナミックDNS機能	使用しない
	PPTPクライアント機能	使用しない
	接続先サーバーアドレス	未設定
	接続先ユーザー名	未設定
	接続先パスワード	未設定
	接続方法	常時接続
	白新切吃	切断条件: 送受信ともにない場合
PPTPクライア	日期切断	待機時間: 5分
ント	認証方法	自動認証
	MTU値	1408 バイト
	MRU値	1408 バイト
	キープアライブ	使用しない
	RIP送受信機能	使用する
	デフォルトルート	PPTP接続先をデフォルトルートにしない
	接続先ネットワーク	未設定
	PPTPサーバー機能	使用しない
	認証方式	MS-CHAPv2認証(40/128bits暗号鍵)
	サーバーIPアドレス	自動設定
DDTD III _バー	クライアントIPアドレス	自動設定
	DNSサーバーのIPアドレス	ブロードステーションのLAN側IPアドレス
	WINSサーバーのIPアドレス	未設定
	MTU/MRU值	1396
	PPTP接続ユーザー	未設定
アドレス変換	アドレス変換	使用する
RIP	Internet側RIP送信	なし
	Internet側RIP受信	なし
	LAN側RIP送信	なし
	LAN側RIP受信	RIP1とRIP2両方

機能	パラメーター	出荷時設定
		IPアドレス: 192.168.12.1
		サブネットマスク: 255.255.255.0
	DHCPサーバー機能	使用する
	割り当てIPアドレス	192.168.12.2から64台
	LAN側IPアドレス (IP Unnumbered 用)	_
LAN	拡張設定	表示しない
	リース期間	48時間
	デフォルトゲートウェイの通知	ブロードステーションのLAN側IPアドレス
	DNSサーバーの通知	ブロードステーションのLAN側IPアドレス
	WINSサーバーの通知	通知しない
	ドメイン名の通知	取得済みのドメイン名
DHCPリース	リース情報	未設定
経路情報	経路情報	-
ファイアウォ		NBTとMicrosoft-DSのルーティングを禁止する 無 効
-14	間易ルール	IDENTの要求を拒否する 有効
		Internet側からのPINGに応答しない 有効
IPフィルター	IPフィルター登録情報	未設定
	フレッツIPv6サービス対応機能	使用しない
VPNパススルー	PPPoEパススルー	使用しない
	PPTPパススルー	使用する
ポート変換	ポート変換登録情報	未設定
DMZ	DMZのアドレス	未設定
UPnP	UPnP機能	使用する
	省電力	使用しない
	ランプ	オフ
	有線LAN	エコ(低速動作)
スケジュール	週間スケジュール	未登録
	動作モード	_ 通常動作
	開始時間	0:00
	終了時間 開口	
	ノロートステーション名	AP+ 本 裂品のMAC / トレス
	官理ユーリー名	admin (変更することはできません)
システム設定	官理ハスソート	password 土記中
	設定用小へ下石	本政定 方組LANわらの設定を林止する 毎効
	417月1百日	有塚LAND うり設定を示止する 無効 Internet側リモートアクセフ設定を禁止する 毎効
	市川区4月日	π
	NTD 株台と	/ パイスのwwwぃード 血悦を示止 りる 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
		に広 す る ntn ist mfeed ad in
		24時間毎
		2014年1日1日
	タイムゾーン	(GMT + 09:00) 東京、大阪、ソウル

機能	パラメーター	出荷時設定
ログ	ログ情報転送機能	使用しない
	Syslogサーバー	未設定
	転送するログ情報	アドレス変換、IPフィルター、ファイアウォー ル、PPPクライアント、ダイナミックDNS、DHCP クライアント、DHCPサーバー、認証、設定変更、 システム起動、NTPクライアント、有線リンク、シ ステム
	詳細なログ取得	取得しない
ファームウェア 更新	更新方法	ローカルファイル指定
	ファームウェアファイル名	空欄
	ファームウェア更新通知機能	使用する
	確認時間	AUTO

IPアドレスの固定方法

<u>Windows 8.1/8の場合</u>

- コントロールパネルを表示します。
 (画面左下を右クリックし、[コントロールパネル]を選択します)
- ネットワーク接続の画面を表示します。
 (ネットワークと共有センターの「アダプター設定の変更」をクリックします)
- 3 「イーサネット」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。 メモ:「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、 [はい] または [続行] をクリックしてください。
- **4** 「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」を選択し、 [プロパティ] をクリックします。
- **5** 以下のように設定して、 [OK] をクリックします。
 - 「次のIPアドレスを使う」を選択
 - IPアドレス「192.168.12.135」
 - サブネットマスク「255.255.255.0」
 - デフォルトゲートウェイは空欄
 - 「次のDNSサーバーのアドレスを使う」を選択
 - ・ 優先DNSサーバーと代替DNSサーバーは空欄

メモ:設定を元に戻す場合は、上記で「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してください。

6 [閉じる] をクリックします。

以上で設定は完了です。

<u>Windows 7の場合</u>

- コントロールパネルを表示します。

 ([スタート] [コントロールパネル]を選択します)
- 2 ネットワーク接続の画面を表示します。 (ネットワークと共有センターの「アダプター設定の変更」をクリックします)

- **3** 「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。 メモ:「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、 [はい] または [続行] をクリックしてください。
- **4** 「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」を選択し、 [プロパティ] をクリックします。
- 5 以下のように設定して、 [OK] をクリックします。
 - 「次のIPアドレスを使う」を選択
 - IPアドレス「192.168.12.135」
 - ・ サブネットマスク「255.255.255.0」
 - デフォルトゲートウェイは空欄
 - 「次のDNSサーバーのアドレスを使う」を選択
 - 優先DNSサーバーと代替DNSサーバーは空欄

メモ:設定を元に戻す場合は、上記で「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してください。

6 [閉じる] をクリックします。

以上で設定は完了です。

<u>Windows Vistaの場合</u>

- コントロールパネルを表示します。

 ([スタート] [コントロールパネル]を選択します)
- ネットワーク接続の画面を表示します。
 (ネットワークと共有センターの「ネットワーク接続の管理」をクリックします)
- 3 「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。 メモ:「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、〔はい〕または〔続行〕をクリックしてください。
- **4** 「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」を選択し、 [プロパティ] をクリックします。

- **5** 以下のように設定して、 [OK] をクリックします。
 - 「次のIPアドレスを使う」を選択
 - IPアドレス「192.168.12.135」
 - サブネットマスク「255.255.255.0」
 - デフォルトゲートウェイは空欄
 - 「次のDNSサーバーのアドレスを使う」を選択
 - ・ 優先DNSサーバーと代替DNSサーバーは空欄

メモ:設定を元に戻す場合は、上記で「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してください。

6 [閉じる] をクリックします。

以上で設定は完了です。

<u>Windows XPの場合</u>

- コントロールパネルを表示します。
 ([スタート] [コントロールパネル]を選択します)
- ネットワーク接続の画面を表示します。
 (ネットワークとインターネット接続の「ネットワーク接続」をクリックします)
- 3 「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。
- **4** 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、 [プロパティ] をクリックします。
- **5** 以下のように設定して、 [OK] をクリックします。
 - 「次のIPアドレスを使う」を選択
 - IPアドレス「192.168.12.135」
 - サブネットマスク「255.255.255.0」
 - デフォルトゲートウェイは空欄
 - 「次のDNSサーバーのアドレスを使う」を選択
 - ・ 優先DNSサーバーと代替DNSサーバーは空欄

メモ:設定を元に戻す場合は、上記で「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択してください。

6 [閉じる] をクリックします。

以上で設定は完了です。

Mac OSの場合

メモ:OS X 10.9を例に説明します。

- 1 システム環境設定を表示します。
- **2** ネットワークをクリックします。
- **3** 無線接続の場合は「Wi-Fi」を、LANケーブルで接続の場合は「Ethernet」を選択します。
- 4 IPv4の構成で「手入力」を選択します。
- 5 以下のように設定して、「適用」をクリックします。・「次のIPアドレスを使う」を選択
 - 「大のJFノトレスを使う」を使
 「ウスドレス「102.1(0.12.125」
 - IPアドレス「192.168.12.135」
 - サブネットマスク「255.255.255.0」
 - ルーターは空欄

メモ:設定を元に戻す場合は、IPv4の構成で「DHCPサーバを使用」を選択して、 [適用] をクリックしてください。

以上で設定は完了です。

壁面への取り付けについて

市販のネジを使用すると、本製品を壁面へ取り付けることができます。 壁面への取り付け手順は、以下を参照してください。

1 ◇マークが上になるように、スタンドを壁にねじ止めします。 スタンド(付属品)



メモ:

・ ねじは、M(またはST)3.0の「なべ頭タッピングねじ」をお使いください。



・ ねじの長さは、スタンドの厚さ(10 mm)と取り付ける壁の材質や厚みに合わせて調整してください。



2 本製品本体をスタンドに固定します。



以上で壁面への取り付けは完了です。

版権・免責事項

- 本書の著作権は当社に帰属します。本書の一部または全部を当社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられております。
- BUFFALO™は、株式会社メルコホールディングスの商標です。BroadStation™は、株式会社バッファローの商 標です。本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では、™、®、© などのマークは記載していません。
- 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。
- 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありました
 ら、お買い求めになった販売店または当社サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

- 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでく ださい。また、当社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
- 本製品(付属品等を含む)を輸出または提供する場合は、外国為替及び外国貿易法および米国輸出管理関連 法規等の規制をご確認の上、必要な手続きをおとりください。
- 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
- 当社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合 については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して 使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバック アップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったため に、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、当社はその責任を負いかねますのであらか じめご了承ください。
- 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
- 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に 交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。